

第六十四回帝國議會
衆議院

日本製鐵株式會社法案外一件委員會會議錄(速記)第四回

會議

昭和八年三月四日(土曜日)午前十時四十分
開議

出席委員左ノ如シ

委員長 若宮 貞夫君

理事鈴木 英雄君 理事岸田 正記君

理事田尻 生五君 理事松本 忠雄君

理事田島勝太郎君 理事岸 衛君

内田 信也君 中島知久平君

竹澤 太一君 菅原 傳君

松尾 孝之君 山田 又司君

實岡半之助君 村田虎之助君

林 路一君 依 孫一君

櫻井兵五郎君 永田善三郎君

手代木隆吉君 高野 喜六君

風見 章君

出席國務大臣左ノ如シ

商工大臣 男爵中島久萬吉君

出席政府委員左ノ如シ

商工政務次官 岩切 重雄君

商工參與官 松村 光三君

商工省鑛山局長 福田 庸雄君

商工書記官 新倉 利廣君

製鐵所長官 中井 勲作君

製鐵所技監 野田 鶴雄君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

製鐵所技師 井村 竹市君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

日本製鐵株式會社法案(政府提出)

製鐵業獎勵法中改正法律案(政府提出)

○若宮委員長 開會致シマス

○鈴木委員 議事進行ニ付テ一言申上ゲマス、此製鐵事業評價審査委員會ニ付議サレ

ル、政府竝ニ只今豫定ニナッテ居ル參加スベキ會社ノ資本ノ拂込總額竝ニ其評定價格

ハ、大抵政府デモ御決リニナッテ居ルコトト考ヘマスノデ、此際ソレ等ノ事項ニ付テ

御示シテ願ヘレバ、非常ニ幸ト思ヒマスカラ、委員長ヨリ政府ニ要求シテ戴キタイ

○若宮委員長 只今御聽キノ通りデアリマスガ、政府ニ於テハ如何デアリマセウカ

○中井政府委員 只今御要求ノモノハ、用意ハ致シテ居リマス、今説明スルダケノ材料ハゴザイマスガ、御手許ニ配付スルノハ

午後ニナルト思ヒマスガ、如何デゴザイマセウカ

セウカ

○鈴木委員 此際説明ダケシテ戴ケバ、非常ニ結構デアリマス、尙ホ書類ガ出來マシ

タラ頂戴致シタイ

○櫻井委員 今ノ御話ヲ聽漏ラシマシタガ、ドウ云フ經過デスカ

○若宮委員長 今鈴木君カラ議事進行ニ付テノ發言ヲ求メラレマシテ、鈴木君ノ要求

ハ、此合同各分子ノ評價ニ付テノ説明ノ腹案ト云フカ、目論見ガアルデアラウト思フ、

ソレヲ參考トシテ提出サレタイ、斯ウ云フ要求ニ對シテ、政府側カラハソレハ書面ヲ

以テ差出スコトハ、今準備ガナイカラ午後ニサレタイ、口頭ヲ以テ説明スルコトハ此

際出來ルト云フ返事デアッタノデアリマス、ソレニ對シテ更ニ鈴木君ヨリ書類ハ後ニ

シ、只今口頭デモ宜シイカラ、説明サレタイト云フ要求ガアリマシタ、斯ウ云フ經過

デアリマス

○櫻井委員 ソレハ委員長ノ御計ヒデ質問ニ御答ニナレバ分ルコトデハナイカト思ヒ

マス、今ノヤウニヤッテ行ケバ議事進行デ質問ハヤラヌデモ宜イト云フコトニナルノ

付託議案

日本製鐵株式會社法案(政府提出)
製鐵業獎勵法中改正法律案(政府提出)

デスガ……

○若宮委員長 私ノ考ヘマス所ヲ腹藏ナク申上ゲテ見レバ、只今鈴木君ノ要求ハ參

考資料ヲ徴サレヤウト云フノデアリマスカラ、差支ナカラウカト思ヒマス

○櫻井委員 ソレデハソレデ宜シウゴザイマスガ、途中ニサウ云フコトヲチヨイ／＼

出サレルト段々質問ガ遅レマスカラ……

○若宮委員長 私ノ考ヘマシタノハ、材料ヲ御取寄セニナッテ、ソレニ依ッテ追々御質問ヲ願ッタ方ガ、進行上御便宜デアリマス

マイカト云フ私一存ノ考デアリマス——ソレデハ御異存ゴザイマセネバ左様ニ致シマス

○中井政府委員 ソレデハ今申上ゲマシタ材料ハ整ヒ次第、多分午後ニハ御手許ニ

差上ゲルコトガ出來ルト思ヒマス、ソレニ依ル御質問ニハ更ニ御答スルコト、致シマ

シテ、只今ノ政府ノ腹案ノ説明ヲ致シマス、先ヅ拂込資本ノ總額ヲ申上ゲマスガ、製鐵

所ト、先日來御話致シテ居リマスル十一社トヲ加ヘマシタ今日マデノ拂込資本及社債

借入金等ヲ全部合計致シマシタノガ、三億

八千八百七十萬圓ニナルノデゴザイマス、其内譯ヲ申シマスレバ、製鐵所ガ二億一千四百四十七萬圓、民間十一社ガ一億七千四百二十二萬圓、是ダケヲ併セマシテ三億八千八百七十萬圓ニナルノデゴザイマス、而シテ之ヲ先日來述ベテ居リマスル、又御手許ニ差出シテアリマスル計畫要綱ニ書イテアリマスル評價ノ方法ニ依リマシテ、詰リ複成式ニ依ル評價及稼高式ニ依ル評價、之ヲ組合セマシテ一應出マシテ評價額ハ四億五百三十八萬圓ニナルノデゴザイマス、然ルニ私共ハ之ヲ此儘デ資本ノ總額トスルコトハ適當デナイト考ヘマス、只今申シマシタノハ、全ク機械的ニ計算致シマシテ、各會社ノ工場ノ經濟的價值ノ權衡ヲ十分ニ取リマシテ數字デゴザイマス、ソレノ出マシタ總額ガ四億五百三十八萬圓、詰リ曩ニ申シマシタ現在ノ拂込資本、負債ト云フモノヲ加ヘマシタ額ヨリモ殖エルノデゴザイマス、是ガ此生産規模ヲ持ッテ居ル事業會社ノ資本總額トシテ適當デアルカドウカト云フコトヲ、諸般ノ點カラ考察致シマシテ、我國ニ於ケル他ノ工業、又外國ニ於ケル同種類ノ工業ト比較致シマシテ、是デハ適當デナイト云フヤウナ考カラ、只今商工省、大藏省ノ間ニ於テ今日マデ捻

リマシタ腹案ハ之ヲ三分ノ二ニ縮メルト云フ腹案デゴザイマス、三分ノ二ニ縮メマスレバ二億七千二百五十萬圓ニナルノデゴザイマス、全體カラ申シマシテ先刻一應暫定的ニ出マシタ數字ガ、製鐵所並ニ參加各十一社トノ各工場ノ經濟的價值ハ十分ニ均衡ガ取レテ居ルト思ヒマスガ、其儘デハ多過ぎルカラ、之ヲ一面諸般ノ事情ヲ考察致シマシタ、此會社ノ資本總額何程デアルカト云フコトヲ頭ニ持チマシテ、ソコマデ之ヲ全部引付ケテ來ル、只今一應ノ腹案ト致シマシテ、私共ハソレヲ全部三分ノ二ニ縮メルト云フヤウナ考ヲ持ッテ居ルノデアリマス、サウナリマストドウ云フ割合ニナルカト申シマス、先ヅ製鐵所ノ分ニ取ッテ申シマスレバ、二億一千四百四十七萬圓ノ今日マデノ拂込資本ノ總額ニ對シマシテ、査定致シマシタ金額ハ一億八千三百十九萬圓ニナルノデアリマス、是ハ拂込資本總額ニ對スル割合ハ八五%ニナルノデアリマス、然ルニ製鐵所ノ分ハ先日來申上ゲテ居リマスルヤウニ、今日マデ多額ノ減價償却ヲ致シテ居リマシテ、今日ノ國有財産ノ財産目錄トシテ議會ニ報告シテ居リマスル數字ハ、之ニ當倅リマス分ハ、一億四千九百三萬圓ニナルテ居ルノデアリマシテ、只今ノ査定額ハソ

レニ對シテハ一二%ニ當ッテ居リマス、ソレカラ民間ノ十一社ノ分ハ、一億七千四百二十二萬ト云フ拂込資本ニ加フルニ負債額、ソレニ對シマシテハ八千七百六萬圓ニナリマシテ、是ハ五〇%ニ當ルノデアリマス、是等二ツ併セマシタモノガ、前申シマシタ拂込資本及負債ノ總額ニ對シテモ七〇%ニ當ッテ居リマス、而シテ又其割合ヲ申シマスレバ、丁度三分ノ二ガ製鐵所ノ出資ニ相當スル割合デアリマシテ残り三分ノ一ガ民間十一社ノ評價ノ割合ニナルノデゴザイマス、尙ホ只今申シマシタノハ、只今動イテ居リマス工場ノ設備ト、土地トニ相當致シマシタ諸般ノ設備ノ總額デアリマシテ、其他ニ政府ノ分カラ申シマス、帳簿價格一千四百萬ニナッテ居リマス、炭山及朝鮮ニ於ケル鐵礦ノ山及ビ鳥取縣ノ「クロム」山ト云フヤウナモノハ別ニナッテ居リマス、尙ホ只今動イテ居ナイ設備ガ、將來ハ動カシ得ル見込ノモノモアリマスルシ、又今申シマシタ土地ハ一定ノ標準ヲ設ケマシテ、是ダケノ設備ニ對シテハ是ダケノ土地ガ入用デアルト云フ前提ノ下ニ計算致シタノデアリマスガ、之ヲ實際ノ地理的状況カラ見マスト、切放スコトノ出來ナイモノモ中ニ入ッテ居リマス、又餘ッタ土地モアリマシテ、

之ヲ如何ニスルカト云フコトハ、別ノ問題トシテ殘シテ居ルノデアリマス、假ニ其總テヲ一應ノ計算ヲ致シマス、約三千六百萬ニナルノデアリマス、之ヲ全部引括メマシテ總計致シマスレバ、先刻申述ベマシタ二億七千萬ノ査定總額ニ加フルニ三千六百萬、隨テ資本總額トシテハ、三億六百萬ト云フヤウナ數字ニナルノデゴザイマス、尙ホ簡單ニ説明ヲ付加ヘテ置キマスガ、御手許ニ差出シテゴザイマス今日マデノ製鐵所ノ政府ノ投資額、ソレカラ損益計算ト云フモノヲ差出シテゴザイマスガ、今日マデノ一般會計、製鐵所作業會計、製鐵所特別會計ニ投資シマシタ總額ハ、全部併セマシテ二億三千四百五十萬圓ニナッテ居ルノデゴザイマスガ、ソレガ只今ノ炭山礦山ト云フヤウナモノヲ加ヘテモ昭和六年度末、詰リ昭和七年三月末ノ國有財産ノ財産目錄ニ載ッテ居リマスノガ、一億六千四百萬弱ニナッテ居ルノデゴザイマスガ、何故ニサウ云フコトニナッテ居ルカト申シマスレバ、今日マデ創設以來減價償却ヲ致シマシタ總額ハ九千三百八十六萬圓デアリマス、隨テ政府ノ一般會計並ニ特別會計ノ投資總額ノ二億三千四百五十萬圓カラ、ソレダケヲ差引キマスレバ一億四千萬圓餘ニナルノデゴザイ

マスガ、ソレガ何故ニ評價額トシテ一億六千四百萬圓弱ニナッテ居ルカト云フ御疑問ガ御起リニナルト思ヒマスガ、ソレハ只今製鐵所ノ北ノ方ノ洞海湾ノ中ニ溶鑪爐カラ出マス鑛滓、ソレカラ各工場カラ出マスル炭燼、斯ウ云フヤウナモノヲ捨場トシテ埋立テマシテ出来マシタ土地ガ、約四十萬坪以上ゴザイマス、其他ニ又作業ノ結果トシテ出来マシタ土地ガアリマス、ソレノ見積ガ財産目錄ニ載ッテ居リマス、其他ニ朝鮮ノ鐵山、又嘉積郡ニ於ケル海軍ヨリ保管轉換ヲ受ケマシタ炭山ト云フヤウナモノガ、別段政府ノ投資ト云フ形デナク自然ニ出来テ居ルノデアリマス、尙又創業以來工場用地トシテ買入レマシタ土地ガ、其後五年毎ニ其時ノ時價ニ應ジテ評價委員ヲ設ケテ、評價シ直シテ財産目錄ニ載セルト云フヤウナモノ、總計ガ其差額ニ當ルノデアリマス

テ、是ハ會社設立ノ際ニ持ッテ居リマスル現金ハ、一應全部預金部ニ返スト云フコトニナリマス、預金部ニ現金ヲ返シマシテ、只今ノ借入金トノ差額ダケハ、更ニ會社ガ預金部カラ借入レマシテ、其借入レタ金デ政府ノ流動資産ノソレニ相當スル分ハ買上ゲマス、サウシマスト買上ゲマス残りノ分ハ矢張流動資産デゴザイマスガ、政府ノ出資ニナルノデゴザイマス、隨テ只今ノ千九百萬圓ノモノガ今後更ニ殖エマスレバ、ソレダケ政府ノ出資ガ多クナル譯デゴザイマス、假ニ只今ノ通りノモノガ設立マデ續クモノト致シマシテ、六千五百萬圓ノ借入金ニ對シテ千九百萬圓ヲ返スト致シマスレバ、四千二百五十萬圓ノ借入金ガ殘ルノデアリマス、ソレダケノモノヲ會社ガ預金部カラ借入レマシテ、ソレニ相當スル四千二百五十萬圓ノモノヲ政府ノ流動資産ヲ買上ゲルトナリマス、七千萬圓カラ引クコト四千二百五十萬圓、其残りノ二千七百五十萬圓ニ相當スル流動資産ハ、之ニ加ヘマシテ矢張政府ノ出資額ニナル計算ニナルノデゴザイマス

金ノ見込ハ何程カト云フ御尋ニ對シマシテ、私ハ一千萬圓以上ハ必ズアリマスト申上ゲマシタガ、其點辻褄ガ合ハヌデヤナイカト云フヤウナ御疑念ガ起ルカト思ヒマスガ、此千九百萬圓ノ現金ヲ持ッテ居リマスコトハ、必シモ益金ノ總額デハナイノデアリマス、詰リ前年ヨリ持越シマシタ品物ヲ、之ヲ需要ガ非常ニ進ミマシテ賣リマシタモノモ此中ニ入ッテ居リマス、實ハ是ハ決算ヲ致サナケレバ分ラヌノデアリマスガ、只今本年度ニ入リマシテカラ契約致シマシタモノ、總額、ソレカラ生産費ノ方ハ漸次計畫ヲ立テ、其通りニ進ンデ居リマスガ、其差額ガ一應ノ契約ト睨合セマシタ上カラ見マシタ益金ナノデアリマスガ、ソレハ只今迄ニモウ千六百萬圓位ノ差額ガ出テ居ルノデアリマス、但シ是ガ決算ニ現レマス場合ニ於キマシテハ、本年度ノ初メ、詰リ昭和七年ノ四月五月ニ渡シマシタモノハ、實ハ本年度ノ契約ノモノデナクシテ、昨年度ノ終リ二月三月頃ニ契約致シマシタモノガ、本年度引渡シマシテ代金ヲ徴收シタト云フコトニナルノデアリマシテ、其方ハ本年度決算ニ現レマス、二月半バ以後三月頃契約致シマシタモノハ、是ハ只今先物ノ註文ヲ受ケマシテ、サウシテ實際ノ品物ノ引渡し、

代金ノ徴收、又ハ精算ト云フモノハ、自然來年度ニ延ビルノデアリマスカラ、左様ナ計算ニナルノデゴザイマス、尙ホ本年度ニナリマシテモ、實ハ昨年ノ六七、或ハ八月頃迄ノ賣値ガ只今ヨリズット安カッタノデアリマシテ、其頃モ多少ノ益金ハ舉ッテ居リマスケレドモ、大シタコトハナカッタト云フ關係カラ、只今申シタヤウナコトニナルノデアリマス、一應ソレダケ御説明申上ゲテ置キマシテ、後程書類ヲ御手許ニ差上ゲマシテカラ、其書類ニ依ッテ又御尋ニ應ジマシテ詳細ノ事ヲ御答申上ゲタイト思ヒマス

○若宮委員長 菅原君

○菅原委員 極メテ簡單ニ御尋致シマス、製鐵會社ヲ合同統一シテ此事業ノ振興ヲ圖ル、當局者ノ此抽象的ノ御説明ノミヲ承レバ、實ニ結構ナコトデゴザイマス、サリナガラ果シテ御考通り十一會社ヲ滯リナク合同統一シ得ルコトヲ得ルヤ、又假ニ統一シタトシテモ、果シテ當初ノ目的ヲ達スルコトヲ得ルヤ否ヤ、餘程考慮ヲ要スルコトデアラウカト思ヒマス、私ハ此製鐵問題ノ研究モシタコトハアリマセヌ、知識モアリマセヌ、隨テ極ク短ク、幼稚ナル御尋ヲシテ見タイ、色々自給自足ノ途ヲ圖ルト云フ耳障リノ良イ御言葉モアッタガ、要スルニ外國

ニ負ケテ居ルカラ、負ケナイヤウニシ、更ニ勝ツヤウニシヨウト云フノガ趣意デアラウカト思フ、何故今此事業デ外國ニ負ケテ居ルノデアルカ、補助金モアリ、關稅ノ保護モアル、ソレニモ拘ラズ負ケテ居ル、負ケナイマデモ中々容易デヤナイト云フヤウデアアル、ソレデ此案モ生ミ出サレタト云フヤウナ譯デアアル、何故外國ニ押サレテ居ルノデアルカ、必ズ原因ガアルニ違ヒナイ、然ラバドンナ事ニ原因シテ居ルカ、日本ノ會社ト、外國ノ會社ト比較シタナラバ、資本ニ於テ大小ガアルノデアアル、或ハ技術上ノ優劣ガアルノデアアル、或ハ原料トデモ申シマスカ、鑛石等ノ價ニ付テ高低ガアルノデアアル、或ハ會社ノ組織ニ付テモ上手下手ガアルノデアアル、或ハ其國々ニ依ッテ、政治上ノ遣口ノ上手下手ガアルノデアアル、其他色々ノ原因ガアルデアラウト思フノデアリマス、私ハ斯ウ云フ事ハ皆様ハ御承知デアリマセウケレドモ、極メテ幼稚デアリマスカラ、其點ヲ知リマセヌガ、何故日本ノ方ガ負ケテ居ルカト云フコトニ付テ、對外的ノ會社ノ事ヲ一寸御聽キ致シタイ、勿論各國ノ會社ノ内容ヲ御聽キスル必要ハアリマセヌ、競争シテ居ル一、二ノ會社ノ内容デモ、優ッテ居ル點ニ付テ、外國ノ會社ハド

ウシテドウ云フ點ガ勝ッテ居ルカ、ドウシテ此方ガ負ケテ居ルカ、ソレガ分ラナケレバ對策方樹タヌ、合同スルニモ、何ヲスルニモ、自給自足ニ打勝ッテ、此方カラ更ニ進ンデ輸出スルヤウニスルニモ、皆ソレ等ノ點ヲ知ルト云フコトガ、初歩的ノ考デゴザイマスケレドモ、必要デハナイカト思フノデアリマス、ソレデ先以テ此事ヲ御聽キシタイト思ヒマス、外國ノ一、二ノ會社ノ内容ノ大雜把ナ事ヲ承リタイ、日本ノ押サレル原因ハ何處ニアルカ、又ドウ云フ長所ガアルカト云フコトヲ先以テ承リタイノデアリマス

○中井政府委員 只今ノ御尋ニ對シマシテ、簡單ニ私ヨリ御答致シマス、尙ホ私以上ニ外國ノ會社ノ事情ヲ承知致シテ居リマスル野田政府委員ヨリ後デ御答致シマスカ、是ハ丁度只今ノ御尋ノ御趣旨ニ合ヒマスルヤウニト存ジマシテ、先般來御手許ニ、我國ノ鉄鐵鋼材ノ價ト、外國ノ鉄鐵鋼材ノ價トノ比較表ヲ差上ゲテ居ルノデアリマス、ソレニ依ッテ御覽ヲ戴キマスルト分ルノデアリマスルガ、今日ニ於テハ英吉利、亞米利加、獨逸ト比較致シマスレバ、我國ノ國內ノ鉄鐵鋼材ノ價ハサウ高クナイノデアリマス、ソレデ只今ノ爲替ノ圓安ノ狀

況カラ御判斷ニナリ惡イモノト存ズルノデ、ズット以前ノ此方トノ比較ヲ御手許ニ差上ゲテ居リマスノデ、其中ニハ爲替ガ「パー」デアリ、又其前後デアッタ時代モ相當長イノデアリマスカラ、其頃ノ各國ノ時價ト、國內ノ鉄鐵鋼材ノ製造家ノ市場ニ出シマシタ時價トヲ御覽戴キマスルト、自ラドウ云フ狀況ニナッテ居ルカト云フコトハ御分リ下サルコト、思ヒマス、全部詳細ニ御覽戴キマスレバ、決シテ高クナイ、寧ロ物ニ依リマシテハ亞米利加ヨリモ、又物ニ依リマシデアリマス、サウ云フヤウナコトカラ御考願ヒマスレバ、大體ニ於テハ負ケテ居ナイト申上ゲテ宜イト思ヒマス、何故サウナルカト申シマスルト、御承知ノ通り此事業ノ生産費ト申シマスカ、ソレヲ構成致シマスカ、一番金高モ多ウゴザイマスシ、又最モ必要ナモノハ原料デアリマス、詰リ鐵鑛石、石灰石、滿俺ト、斯ウ云フヤウナモノガ主要ナル原料デアアルノデアリマスカ、是ハ外國ト比較致シマシテ只今申シマシタ英吉利、亞米利加、獨逸ト比較致シマシテハ、日本ノ原料ノ爐前ニ於ケル價ハ、爲替ガ「パー」デアッタ時代ニ、「パー」デ比較シマシテ決シテ高クナイノデアリマス、

何故サウ云フコトニナルカト云フコトヲ、御判斷ノ材料ト致シマシテ統計ヲ差上ゲテ居ルノデアリマスガ、詰リ鑛石ノ性質及工場マデ山カラ持ッテ參リマスル距離ト云フモノヲ比較致シマシテ、又石灰ノ山カラ工場マデ持ッテ來ル距離デアルトカ、石灰ノ質トカト云フモノヲ比較致シマシテ、寧ロ鑛石ノ供給ニ於テハ、我國ノ製鐵業ハ英、米、獨ニ比較致シマシテ、寧ロ有利ノ地位ニアル、石灰ノ方ハ質ガ惡イ爲ニ此三ツノ國ニ比較シマスルト負ケテ居リマスヤウナ狀況ニ私共ハ承知致シテ居ルノデアリマスカ、之ヲ總計致シマシテ、外國ノ工場ノ各方面カラ持ッテ參リマス原料ノ爐前ニ於ケル價ト云フモノト、日本ノ工場ニ於ケル爐前ノ價ト比較シテ敢テ遜色ナイノデアリマスカ

其先ハ技術デゴザイマスガ、技術ハ最早今日ニ於テハ、何レノ國ニモ遜色ナイト考ヘテ居リマス、現ニ又昨年ハ丁度モ御手許ニ差上ゲデアリマス表デ御分リノヤウニ、丁度日本ノ國內ノ需要ニ對シマシテ、全部國內ノ生産デ充シ得ルダケニ進ンデ參ッタノデアリマス、然ラバ何故關稅ノ必要ガアルカト申シマス左様ナ狀況デゴザイマスルガ、是モ御手許ニ差出シデアリマス

ル表ノ示ス通り、例ヘバ印度ノ銑鐵ヲ御覽戴キマスレバ、今日印度ノ國內ノ銑鐵ノ價ハ、日本ノ吾々ガ賣ッテ居リマスル銑鐵ノ價ヨリカ餘程高イ、ソレガ日本ニ輸出サレ

ル場合ニハズツト安イモノニナル、ソレカラ獨逸モ國內ニ於テ賣ッテ居リマスル價格ヨ

リモ、輸出ノ價格ハ非常ニ違フ、サウ云フヤウナモノガ入ッテ參リマスルノデ、其脅威

ヲ受ケルト云フコトノ爲ニ、關稅ノ保護ヲ受ケテ居リマスヤウナ次第デゴザイマス、

何故ソレデハ獨逸ハソナニ安ク持ッテ來ルカト申シマス、是ハ只今申シマシタノ

ハ英吉利、獨逸、亞米利加トノ比較デゴザイマスガ、歐羅巴ニ於キマシテハ佛蘭西、

「ベルジウム」、ルクセンブルク」等、斯ウ云フ國ハ生産費モ安ク、國內價格モ安イ、

ソレガ外國ニ安ク賣ル爲ニ、自然獨逸ノ品物モ安ク賣ルト云フヤウナ關係モアリマ

ス、其他諸般ノ事情ガ私共精神的ニ考ヘマ

スレバ、一種ノ「ダンピング」ヲ受ケテ居ルヤウナ感ジヲ持ツノデアリマスガ、併シ之ヲ

不當廉賣ノ取締ノ適用ヲ受ケシメルト云フコトハ、中々困難デゴザイマシテ、今日絶

エズ其歐羅巴ノ一番安イモノ、或ハ又國內價格ヨリモズツト安ク外國ニ輸出致シマス

モノ、又ハ印度ガ國內デ高ク銑鐵ヲ賣ッテ

居ルニ拘ラズ、日本ニハズツトソレヨリモ安イモノヲ持ッテ參リマスモノト戦ヒマス、斯ウ云フヤウナ次第デゴザイマス

前申シマシタ通りニ英、米、獨ニ較ベマシテハ、敢テ遜色ハナイ、ソレト同様、又

ハソレヨリモ更ニ安イ價格ヲ以テ、今日マデ供給致シテ居リマスルシ、今後又此會社

ノ經營ニ依ッテ更ニ生産費ヲソレ以上ニ安クシマシテ、佛蘭西ヤ「ベルジウム」邊リマ

デ出來得ルカドウカ分リマセヌガ、尠クトモ英米獨ノ工場ガ其國民ニ供給致シテ居リ

マスル銑鐵、鋼材ヨリモ更ニ安ク供給シ得ル自信ヲ以テ進ミ得ル考デ居ル次第デア

リマス、尙ホ私只今國內價格ヤ、其他ノ比較表ヲ御手許ニ差出シテ居ルト考ヘテ居リ

マシタ所ガ、マダ配付ヲシテ居ナイサウデアリマスカラ、是モ後程配付致シマス

○菅原委員 今ノ御説明ノ中ニ一寸諒解シ兼ネル所ガアル、何モ日本ノ方デハ負ケテ

居ラヌ、「ダンピング」カ何カデ、兎ニ角安ク賣ル、ドウシテ安ク賣ルノカ、其邊ヲ原料

トカ、技術トカ、優秀品デアルトカ、何カ原因ガアッテ日本デ買ヒタクナクテモ買ハナ

ケレバナラヌモノガアル、ソレニ負ケヌヤウニスルト云フ趣意デアルカ、何モ負ケテ

居ナイ、技術、原料、總テニ於テ宜イト云

フナラバ、合同ナド自然ニ委シテ、發展サセテ宜イト思ハレルガ、其邊ノ所ヲ一寸私ハ諒解シ兼ネマス

○野田政府委員 只今ノ御質問ニ私カラ御答致シマス、日本ノ製鐵事業ハ、御存知ノ

如ク需要ハ非常ニ先進製鐵國ニ對シテ少イノデアリマシテ、例ヘバ銑鐵ニ於キマシテ

モ最モ世界的ニ有利ナル狀況ニアリマスル印度ノ製鐵事業ノ問題デアリマス、ソレ等

ハ鑛石モ、石炭モ、勞働賃モ、殊ニ勞働賃ニ於テ非常ニ安イノデアリマシテ、鑛石モ

立派ナ鑛石ガ多量ニ一ツ所ニ出ル、石炭モ「コークス」ニナリ易イ石炭ガ非常ニ出ル

ノデアリマス、ソレデ比較的安ク、恐ラクハ世界デ一番銑鐵ガ安ク出來ル國デア

ル、ソレガ日本ノ需要ノ少イ所ニ入ッテ來マシテモ、ソレデ日本ハ銑鐵製造業ニ

ハ比較的脅威ヲ感ズルノデアリマス、只今製鐵所長官カラモ申上ゲマシタヤウニ、

印度デ輸出シマスモノト、國內デ賣ッテ居リマス値段トハ、大分ノ差ガアルヤウデゴザ

イマス、時々ニ依ッテ違ヒマスガ、ソレガ只今デハ昨日モ、一昨日モ申上ゲマシタヤウ

ニ、印度ハ約四十圓デ入ッテ居ル、是ハ只今ノ關稅デアリマス、若シ關稅ガアリマセヌ

ケレバ、三十三圓デ入ッテ來ルト云フヤ

ウナ風ニナッテ居ルノデアリマス、日本ノ銑鐵製造業モ、只今長官カラ申上ゲマシタ通りデスガ、私カラ蛇足ヲ加ヘマスレバ、此

東洋方面ニ於キマシテハ鑛石ノ狀況ガ非常ニ宜シイノデゴザイマス、一般ニ考ヘラレ

テ居ルコトハ、日本ハ鑛石ガナイカラ、製鐵事業ハ無理デハナイカ、製鐵事業ヲ發展

サセルノハムヅカシイノデハナイカト云フ風ニ考ヘラレテ居リマスルガ、私共專門的

ニ調査ヲ致シテ居リマスル所カラ見マスルト、鐵鑛ニ對シマシテハ、日本ハ割合ニ東

洋ニ於テ惠マレテ居ルヤウナ感ヲ有ッテ居ルノデアリマス、是ハ御手許ニ差出シマシ

タ昭和七年十二月ニ調査致シマシタ鐵鋼ニ關スル統計表、其中ノ十五頁ヲ御覽下サイ

マス、亞米利加ノ國內デ使ッテ居リマスル鑛石、亞米利加ハ御存知ノ通り大部分國

內ノ鑛石ヲ使ッテ居ル、所ガ御存知ノ通り非常ナ遠距離ヲ輸送致シマスルノデ、必シモ

鑛石ガ直グ手近ニアルト云フ風ニハ行ッテ居ラヌノデアリマス、大體ニ於キマシテア

ノ大キナ湖水ヲ三ツ位抜ケテ持ッテ來テ居リマス、極ク平均シタ水上距離ヲ申シマス

ト、籽デ出テ居リマスルガ、千六百六十籽位ヲ運ンデ居リマス、獨逸モ是ハ大部分瑞典

極ク北部ニアリマス「ラブランド」カラ諾威

ヲ拔ケテ、北海ヲ通ッテ、「ライン」河ニ入ッテ、製鐵所ニ持ッテ來ルノガ大部分デアリマス、一昨々年ノ統計アタリハ殆ド九〇何%ト云フモノハ、獨逸デハ瑞典ノ鑛石ヲ使ッテ居ルノデアリマス、是モ輸送距離ハ水上千八百六十五軒位ヲ運ンデ居リマス、尙ホ亞米利加ハ其上ニ鑛山カラ湖岸迄出シマスマデニ相當ノ距離ヲ運ビマス、又此方ノ湖岸ニ著キマシテカラモ、相當ナ距離ヲ運ンデ居リマスノデ、陸上デモ二百軒以上、獨逸モ百四十軒以上運ンデ居ルノデアリマス、本邦ハ大部分製鐵所ダケカラ申シマスト、製鐵所デ最モ好シデ使ッテ居リマサル鑛石ハ、新嘉坡ヲ含ミマス馬來半島カラ持ッテ來テ居ルノデアリマスガ、其鑛石ハ恐ラク世界デモ優秀ナ鑛石デ、一昨日カ、製鐵所長官カラ申上ゲマシタガ、ヤハリ六十四五%アル鑛石デゴザイマス、其外大冶カラモ來テ居リマスガ、是ハ良イノニナリマスト、六〇%、朝鮮カラ參リマスモノ、スツカリ加ヘマシテ、輸送距離ハ獨逸ノ大體倍ニナリマシテ、海上輸送距離ハ、三千二百六十軒ニナリマスガ、幸ニ向フノ鐵山モ水ニ近ウゴザイマスシ、此方ハ海岸デアリマス爲ニ、陸上ノ距離ガ非常ニ近イノデ、陸上ヲ運ビマス距離ヲ水上ヲ運ビマス距離ニ

比ベテ運賃ニシテ、兩方共ドンナ立派ナ設備ヲ加ヘマシテモ、約十倍ハ違ヒマス、最低十倍ハ違ヒマス、大體ニ於テ十五倍、二十倍位ニ考ヘテ居リマス、ソレデ總テヲ水上ニ換算致シマスト、本邦ト獨逸トハ殆ド同ジデ、年ニ依ッテ、需要ニ依ッテ違ヒマサルガ、八幡ノ昭和六年ト、獨逸ノ昭和五年トヲ比較シマスト、八幡ノ方ガ三千五百七十、獨逸ガ三千三百七十ト云フヤウデ、僅ニ二百軒位ノ違デアリマスガ故ニ、鑛石ハ獨逸ガ輸送シマストノヨリハ、本邦ノ輸送シマスト方ガ上等ナデアリマスカラ、結局好イ條件ニナリマス、ソレカラ又一方ニ於キマシテ、色々地質學的ニ調べマシタ結果鑛量モ相當アルト云フコトヲ確認致シテ居リマスノデ、鑛石ニ付テハ餘リ心配シテ居リマセヌ、石炭モ今日ハ……(「簡單ニ願ヒマスト」呼フ者アリ)ソレデ鉄鐵ニ付テハ、只今申上ゲマシタヤウニナリマスガ、鋼材ニ付キマシテハ、是モ只今製鐵所長官カラ申上ゲマシタヤウニ、佛蘭西、「ルクセンブルグ」、「ベルジウム」ト云フヤウナ法ノ國デ、平價切下ヲヤッテ居リマス安イ爲替ノ國ガ、勞銀モ安ウゴザイマスシ、鑛石モ近クニ戰後鑛石ノ出マス所ヲ獨逸カラ取リマシタ爲ニ、比較的設備費ガ少クテ之ヲ採デ居リ

マス爲ニ、原價償却等モ少ウゴザイマスシ、勞銀モ少イト云フヤウナ關係デ、今日デハ此佛蘭西、「ルクセンブルグ」、「ベルジウム」邊リガ世界デ一番安イ所デアリマス、ソレニ倣ッテ、獨逸ガ輸出スル時ニハ、ソレト競争シテ輸出シテ參リマス、「ベルジウム」、「ルクセンブルグ」アタリハ、大部分ハ英吉利ニ輸出シテ居リマスガ、日本ニ向ケテ輸出シテ參リマスノハ、獨逸ガサウ云フ安イ特ニ經濟的ニ惠マレテ、安イ國ノモノト競争シテ持ッテ來マシテ、獨逸ノ國內デハ假ニ百二十馬克位デ賣ッテ居リマスモノヲ、殆ド其半分デ輸出スルト云フヤウナ狀況デアリマス、何故獨逸ガサウ云フコトガ出來ルカト申シマスト、獨逸ハ日本ナドカラ較ベマスト、割合ニ澤山製品ヲ造ッテ居リマスノデ、色々間接費トカ、サウ云フヤウナ直接工場ノ生産費デナイヤウナモノ、費用ハ、國內デ賣ッタモノニ掛ケテシマヒマシテ、外ニ出シマスモノハ、殆ド鑛石代、石炭代、勞力費ト云フダケ位ノ費用デモ外ニ賣出シ得ルヤウナ狀況ニナッテ居ルモノト言ヘルノデアリマス、非常ナ深い真相マデハ吾々不敏デ分リマセヌガ、大體サウ云フヤウナ形デ日本ニ攻メテ參リマス、ソレニ對シテ今日デハモウ全然問題デナイノデゴザイマ

ス、爲替ガ斯ウ云フ風ニナリマスト、併シ普通ノ爲替ノ時ニハ、ソレ等ガ比較的吾々ヲ脅威スル爲ニ、只今菅原サンノ御質問ノヤウナコトガ起ッテ居ッタノデアリマスガ、今日デハサウ云フコトガナクナッテ居リマス

○菅原委員 御説明ヲ承レバ承ル程私ハ諒解ニ苦シムノデアリマス、技術ニ付テモ日本ハ負ケテ居ラヌ、原料鑛石等ニ付テモ、其他總テノ點ニ付テ負ケテ居ラヌ、何ノ爲ニ脅威サレルカ、或ハ外國ハ勞働賃銀ガ安イ、或ハ資本ガ多イ爲カ、何カ色々ノ原因ハアリマセウケレドモ、主因ダケキチント簡單ニ一語カ二語デ御答願ヒタイ、グル／＼御話サレテモ、一向要點ニ付テ御答ガナイカラ困ル、私ノハ唯四ツ五ツ原因ガアルガ、其中ドレガ主ナ原因デアルカ、是デアルカラ、日本ハドウシテモ對抗ノ爲ニ資本ヲ多クシナケレバナラヌ、或ハ技術ヲ進メナケレバナラヌ、ソレニ依ッテ私ハ滿洲ノ關係等ニ付テモ申上ゲタイノデ、餘リグル／＼デドウモ分リマセヌ、唯今御聽シタ御話ノ中デ考慮スベキコトハ、内地デ掘クカラ外國ニハ安クテ行ク、サウ云フコトハ成程商業ノ關係上旨クヤッテ居ルデセウ、併シ日本ト雖モ技術ニ付テハ劣ラヌ、石ニ付テモ劣ラ

スト言へバ、何ガ負ケル要點カ、脅威サレ
ル要點ダケヲ御答願ヒタイ、一語カ二語デ
澤山デス

○中井政府委員 簡單ニ申上ゲマス、先刻
來申シマシタヤウナ事情デゴザイマシテ、
日本ニ脅威ヲ與ヘルモノハ、何レモ國內的
ニハ十分ニ統制ガ取レテ居ルノデアリマ
ス、或ハ「シンジケート」或ハ「カルテル」
―又獨逸、亞米利加ノ如キハモウ先年來大
合同ヲ企テマシテ、國內ニ於テハ十分統制
ヲ取リマシテ、ソレデ國內ノ價ハ日本ノヤ
ウニ始終變ッテ居ルト云フコトハゴザイマ
セヌデ、ズット續イテ、或一定ノ價格ヲ維持
シマシテ、サウシテ其餘力ヲ外國ニ向ケル
ノデアリマス、其爲ニ脅威ヲ受ケルノデア
リマス

○菅原委員 相當ノ御説明デアリマスガ、
私ハ十一時カラ會ガアリマスノデ、要點ダ
ケ御聽シテ置キマス、原料ニ於テモ、技術
ニ於テモ皆負ケテ居ラヌガ、唯内輪ノ組合
ト申シマスカ、聯合ガ外國ニ比ベテ良ク
行ッテ居ラナイト云フヤウナ御話、ソレナラ
バ其意味ニ於テハ今度ノコトモ分ル、然ラ
バ此十一會社ガ完全ニ全然合同ガ出來ルデ
アリマセウカ、昨日來ノ當局者ノ御話ヲ
承ッテ居ルト、中々全部ハ行カヌ、理想トシ

テハ十一合同シタイノデアアルガ、初メハ三
ツカ四ツ纏マルカモ知レヌト云フ御話デ
アリマス、若シソシナコトニナレバ、三ツ
カ四ツノ大株主ナリ、主ナル資本家ノ關係
シテ居ル會社トノ合同ハ出來マセウケレド
モ、後ニ置去リニサレル七八ツノ諸會社ガ
ドウ云フ事情ニナルカ、半合同ニナッテシマ
フ、是等ノコトニ付テモ精神的ニモ、物質
的ニモ餘程考慮シナケレバナラヌ所デアリ
マス、今モ御話ノ通り、外國ノ方ハソシナ
ラ關係ハ皆ク行ッテ居ル、唯合同ノミシタ所
ガ必ズシモ製鐵業ガ盛ニナル譯デハナカラ
ウト思フ、少シ例ニ取ッテハ當ラナイカモ知
レマセヌケレドモ、例ヘバ小學校ノ力アル
人、中學校ノ力アル人、大學ノ力アル人、
ソレヲ合同シタ所ガ教育ガ發達スル譯ニハ
行カヌ、唯生徒ノ數ハ多クナリマセウ、或
ハ又私立大學ト官立大學ヲ合體シテモ教師
ハ多クナルガラウ、或ハ私立學校ノ教師ノ
爲ニ官立學校ノ短所ヲ補フコトハ出來ル
ガ、ソレヲ合シタカラト云ウテ、必シモ教
育ガ皆ク行ケルト云フ譯ニモ行クマイ、ソ
レトハ違ヒマスケレドモ、多少似寄ッテ居
ル、十一ノ製鐵會社ニ甲乙丙丁幾多ノ歴史
ガアリ、幾多ノ長短ガアル、ソレヲ合シテ
果シテ對外政策上、外國ノ訓練シテ共同シ

テ來ル所ノ此製鐵業ニ、日本ノ十一會社ノ
合同或ハ半分ノ合同ガ、果シテ外國ト戰ッテ
行クコトガ出來ルカ、昨日來委員ノ或方ノ
御話モアッタガ、八幡ノ製鐵所ノ如キ實ニ吾
吾國民ノ租税ヲ以テ、時ニ盛衰ハアッタケレ
ドモ、當局者ノ人ナリ、或ハ其役人ノ方、
技術官、或ハ之ニ從事スル従業員、勞働者
ノ方々ノ勤勉熱練ニ依ッテ、今日ノ盛ナル位
置マデ進ンダ、是ハ皆國民力ヲ出來テ來テ
居ルノデアアル、ソレガ今度營業的ニナッテ
來ルト、一部ノ巨資ヲ懷ク所ノ主ナル實業
家、是ハ必シモ惡イコトデハナイケレドモ、
若シ其方ニノミ引カレテ行クト云フヤウナ
コトガアッタラ、長イ間吾々國民ガ心血ヲ注
イデ來タ製鐵所ノ如キモ、歷史上ノミナラ
ズ、實質ニ付テモ變ッテ來ハセヌカト云フ心
配モ見エルノデアアル、私立會社ハ自分自身
デハ合同セヌ、八幡ノ製鐵所ガ入ッテ初メ
テ合同スルカノ如ク、ソレモハッキリ分ラヌ
ト云フ御話ダケレドモ、何トカナルデアラ
ウト云フ位ノ程度、外國ノ方ハ今御話ノヤ
ウニ揃ッテ協調シテヤッテ來テ居ル、ソレニ較
ベルト至ッテ心細イ、又私ナド大局カラ考ヘ
テ見マスレバ、見様ニ依ッテハ今度ノ合同ナ
ドハ小サイ計畫デアアル、餘リ平凡デハナイ
カトモ考ヘル、甚ダ失禮ダケレドモ、何故

滿洲ト云フモノヲ考ヘナイノカ、日本ガ今
日滿洲ノ獨立成リ、其爲ニ經濟提携ト云フ
コトモ言ッテ居ル、其中ノ一ツデナケレバナ
ラヌ此鐵ノコトナリ、石炭ノコトナリ、重
要ナコトデアアル、是等トノ關係ヲ今マデノ
政府ノ御考ヲ承ッテモ確定シテナイ、何トカ
將來ニハ決リサウナ如クデアアルケレドモ、
ドウ云フ方針デアアルカ、經濟提携デアアルカ、
製鐵ノ如キ、石炭ノ如キ案ガマダ決ッテ居ナ
イヤウナ口吻デアアル、ソレ等ノ邊マデ提携
スルカ、合同スルカ、是等ノ方面モ決メズ、
唯小サイ十一會社ノミガ理想ダト云フ、一
應統制ト云フ言葉ヲ聽キマスレバ、如何ニ
モ御尤デアアル、實質的ニ外國ノ精銳、外國
ノ訓練シタ所ガ協調シテ當ッテ來ル此製鐵
會社、製鐵業ニ對シテ、果シテ日本ガ對抗
シ得ルヤ否ヤ、要スルニ滿洲方面ノ鐵、石
炭トノ關係、經濟提携ガハッキリシナイ間
ハ、唯平凡的ノ合同デナイケレドモ、合同
ノ爲メノ合同デアアル、本當ノ實質的利益、
國益ヲ舉ゲルコトガ出來ルカ疑問デアアル、
國策ト云フ以上ナラバ、滿洲ノコトモ一緒
ニ考ヘテ行カナケレバナラヌ、唯商會社
ノ合同デアレバ是ハ必シモ政府ノミ有利ニ
關與スル譯ニハ行カヌ、政府ガ共々ヤルト
云フ以上ハ是等ノ大局高所カラモ考ヘナケ

レバナラスト思フノデアリマス、餘リ幼稚ナ質問デアリマスケレドモ、此大局ガ決ラヌケレバ、後ノコトハドウナスツタ所ガ將來ノコトガ思遺ラレルト云フヤウナ感じモ起ルノデアリマス、少シ大難把ナ間デゴザイマスケレドモ、此邊ノ所ノ大局ノコトニ付テモ、御話ヲ承レバ大變結構デアリマス

○中島國務大臣 只今菅原サンカラ洵ニ御尤ナ御尋ガゴザイマシタ、御急ギノヤウデゴザイマスカラ骨子ダケヲ申上ゲマス、此度十一社ノ合同ヲ目標ト致シマシテ立案致シマシタコトハ、屢、申上ゲタ通りデアリマス、此十一社ノ合同ガ一時ニ實行ヲ期シ難イ各般ノ事情ノゴザイマスコトモ、段々申上ゲマシタノデアリマスガ、私共ノ信ジテ居リマスル所ヲ申上ゲマスレバ、先ヅ十一社中製鐵事業ノ基本作業ヲ致シテ居リマス製鐵業ノ合同ハ、或ハ當初時ヲ同ジウシテ成立ツタノカト信ジデ居リマス、アトノ六社ノ關係ニ至リマス、色々ノ企業内容ノ整理等ニ外間トノ交渉ヲ要スルモノガゴザイマス等ノ事情カラシマシテ、幾分其合同ノ期ガ遅レルカト思ヒマスガ、結局只今目標ト致シテ居リマス各社ノ間ニ於ケル企業合同ガ成立チマスコトヲ、信ジテ進マント致

シテ居ルノデアリマス、而シテ先ヅ十一社ノ企業合同ガ成立チマスレバ、昨日モ申上ゲマシタ通り、茲ニ種々ナル關係ヲ得マシテ、大體海外ノ企業ニ相後レザル日新ノ施設ヲ致シマシテ、其生産費ノ上ニ於テモ、又販賣上ニ於キマシテモ、略、外國ノソレト相對立シ得ル茲ニ基礎ガ出來マシテ、其内容ノ改善ト、財的基礎ノ確立ト共ニ漸次只今申上ゲマシタ外國輸入品ノ脅威ニ對シマシテ、稍、安心シ得ベキ地步ガ出來ルコトニ相成ルモノト、是モ確信致シテ居ルヤウナ譯デアリマス、殊ニ只今仰セノ日滿兩國ノ製鐵國策ニ關スル立場ニ於テハ、實ハ此際滿洲ノ同業者間ニ是亦合同ノ内輪話ガ大分進ンデ居リマス、而シテ今後滿洲方面ニ施設セラレント致シテ居リマス企業計畫モゴザイマス等ノ事情ニ鑑ミマシテ、此度政府ガ本案ヲ提出致シマス爲メノ開議ノ席上ニ於テ、丁度只今御心配ニ相成ッテ居リマス點、即チ日滿兩國ノ製鐵國策ニ關スル根本方針ニ關シ、又日滿兩國製鐵業ノ生産並ニ販賣ノ統制ニ關スルコト、尙ホ今後日滿兩國ニ互リ製鐵業ノ受クベキ國家ノ保護助成ノ條件ニ關シマスコト等ニ付キマシテハ、今後或ル特殊ノ機關ヲ政府部内ニ設ケマシテ、日滿兩國ノ間ニ此事業ニ關スル經濟統

制ヲ行フ方針ニ相成ッテ居リマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○菅原委員 尙ホ多少御尋ネ申シタイコトモアリマスガ、三陸ノ災害ノコトデ已ムヲ得ナイ用事ガアリマスカラ、何レ又機會ヲ得テ御伺スルコトニ致シマス

○若宮委員長 ソレデハ御留保ニナッテ居ルコトニ致シマス、櫻井君——一寸申上ゲテ置キマスガ、今日ハ午後モ繼續ヲ願フ積リデゴザイマスカラ、途中ニナリマシテモ一向差支アリマセスカラドウゾ……

○櫻井委員 我ガ朝野多年ノ懸案デアリマシタ製鐵合同案ヲ、政府ガ茲ニ提出セラレタコトハ、固ヨリ商工大臣ノ御經綸ニ基クコトハ當然デアリマスケレドモ、六十二議會ニ於テ關稅問題ノ時ニ衆議院ガ、一致ヲ致シテ付帶決議ヲ致シタ、其趣旨モ十分體セラレテ此度ノ案ガ出來タコト、思フ、製鐵業モ其一ツデアリマスガ、我ガ産業ノ根幹ヲ成ス所ノ是等ノ大事業ニ付テ、戰時好況時代ニ非常ナ高イ固定資本ヲ掛ケテ出來、技術ノ上カラ見テモ、組織ノ上カラ見テモ、色々無駄ノ多イ狀態ノモノガ大分澤山アル、其中ノ製鐵業ガ此度合同ニナリ、是ガ完全ニ解決ヲ致シマスレバ、或ハ電氣ノ事業デアルトカ、或ハ造船ノ事業デア

トカ、之ニ類シタル所ノ國民經濟ノ根本ヲ成ス諸問題モ追々解決シテ行クデアラウト考ヘマシテ、此點カラ是ハ我ガ産業界ニ一ツノ劃期的ノ革新ヲ與ヘル問題デアアル、斯様ニ私共ハ此問題ヲ重要ニ考ヘルノデアアル、ソコデ斯様ニ重要ニ考ヘマス以上、吾ハ此案ハ完璧ナモノニシタイ、決シテ途中デアレハ失敗デアッタ、アレハドウモ遣リ方ガ足りナカッタト云フヤウナ、悔ヲ貽サナイヤウナ問題ニ固メタイト云フ希望ヲ懷カザルヲ得ヌノデアアルガ、要スルニ我ガ産業ノ王座ヲ占ムル所ノ鐵工業ノ問題、是程私ハ重要ナ問題ハナイト思フ、ソレガ爲メデアラウト思ヒマスガ、昨日ハ長時間ニ互ッテ、商工大臣ノ滿幅ノ經綸ヲ伺ッタ次第デアリマス、私ハ御尤ノコトデアルト思フ、大ニ諒解スル所ガアリマシタガ、併シ具體的ニ一ツ私ハ此問題ノ中心ヲ擱ンデ置キタイ此問題ノ目的ハ製鐵業ヲ確立スルニアルト云フコトハ、製鐵會社ノ定款ノ劈頭ニ掲ゲラレタ問題デアアル、如何ニモ確立サセナケレバナラス、然ラバ其確立ハドウシタラ出來ルカ、ドウ云フ狀態ニスルコトガ本當ノ確立デアルカ、之ヲ私ハ考ヘタイノデアリマス、ソコデ今ノ製鐵業ハドウシテ立ッテ居ルカ、斯ウ申シマス、能ク吾々ハ、政

府ノ保護ヲ二重ニモ三重ニモ受ケテ居ルト云フヤウナコトヲ例ニ引イテ申シマスガ、驚ク勿レ製鐵業ハ數ヘテ見マスルト、七重ノ保護ヲ受ケテ居ル、此位澤山ナ保護ヲ受ケテ居ル事業ハ我國ニモ少イダラウト思フ、否絶無カモ知レナイ、即チ先ヅ土地收用法適用ノ如キハ、是ハマア暫ク別問題ト致シマシテ、國稅、地方稅ノ免除、製鐵設備用ノ機械器具ノ輸入ニ對シテモ免稅ヲシテ居ル、造船用ノ鋼材ノ製造業ニ對シテモ交付金ヲ出シテ居ル、鉄鋼一貫作業ニ對シテモ獎勵金ヲ出シテ居ル、其外ニ關稅デアルトカ、何シロ此處ニ示サレタモノニ依ッテ數ヘテ見ルト、七重ノ保護ヲ受ケテ居ル、サウシマス、先ヅ此七本ノ柱ノ支ヘニ依ッテ立ッテ居ル、本當ノ製鐵業ノ確立ト云フノニハ、製鐵業ガ自分ノ脚デ立タナケレバ確立デナイ、此中ノ一ツ二ツハ性質ニ依ッテ別ト致シマシテ、少クトモ之ヲ支ヘテ居ル所ノ支柱ヲ、一本々々時期ニ依ッテ取ッテ行ク、サウシテ製鐵業、ソレ自體ガ自分ノ脚デ立得ルヤウニナッテ——世界經濟ノ場面ニ對シテ、自分ノ脚デ立テルヤウニナッテ、初メテ日本ノ製鐵業ガ確立シタト云フコトガ出來ルト思フノデアリマス、關稅ハ是ハ急トハ申シマセヌガ、是ハ完全ニ取ラレナケレバナラヌ、

獎勵金モ免稅特典モ除ラレナケレバナラヌ、ソレデス様ニ考ヘ來リマス、茲ニ當局ノ御考ヘニナッテ居ルコトヲ色々伺ッテ見ナケレバナラヌコトガアルノデアリマス、先ヅ其中ノ一ツトシテ、先程菅原君カラノ御質問ノ中ニ重要問題ガ一ツアッタト思ヒマス、ドウシテ外國ト對抗出來ナイノカト云フ問ニ對スル答辯ノ結論トシテ、向フニハ「トラスト」トカ、「カルテル」トカ、色々組織ガ完備シテ居ル、統制ガ完全デアアル、ソレデ脅威ヲ感ズル、吾々ノ方ニハマダ其組織ガナイ、ダカラソレヲ必要トスルト云フコトガ結論デアッタヤウニ思ヒマス、其中ニ、一寸長官ト野田技監ノ御答辯ノ間ニ、多少御相違アル點ガアッタト思ヒマスカラ、其點ヲ先ヅ確メテ見タイト思ヒマス、長官ノ御説明ニハ、「ダンピング」ノ脅威ヲ感ゼザルヲ得ヌト思フ、斯ウ云フ御話ガアリマシタ、野田技監ノ御話ニハ、印度ハ色々生産條件ガ宜シイ、ダカラ競争力ヲ有ッテ居ルト云フヤウナ御説明デアッタト思ヒマス、此點ヲハッキリサセテ置キタイ、ソレカラモウ一ツハ長官ノ御説明デアッタト思ヒマスガ、英、米、獨、佛、手許ノ材料ニハ白耳義モ出テ居リマスガ、國內ノ販賣價格ハ輸出價格トハ違ッテ居ル、之ニ依ッテ見テモ日

本ハ必シモ條件ガ劣ッテ居ルノデナイト考ヘル、斯ウ云フ御説明ガアッタノデアリマス、私共ハ此御説明ハ、販賣市價ノ上カラ聽キマスコトモ、一ツノ途デアリマスケレドモ、若シ當局ノ調査ガ出來テ居レバ、生産原價ノ上カラノ御説明ヲ願ヒタイ、印度ノ生産原價ハ幾ラ、英吉利ヤ亞米利加ハ國內價格ト、輸出價格ガ餘リ違ッテ居ラヌヤウデアリマスケレドモ、獨逸ハ違ッテ居ル、白耳義モ違ッテ居ル、是等ハドウ云フ政策カラ來テ居ルノデアアルカ、又是等ノ國々ニ於ケル所ノ生産原價ハ實際スウ推定サレル、ソコデ日本ノ生産原價ハドウダ、之ヲ相對比シテ初メテ日本ノ製鐵業ノ——是カラ先ノ問題ハ後廻シトシテ、先ヅ現在ニ於ケルモノヲ標準トシテ考ヘテ見マシテモ、國際競争力ハ、ドウ云フ力ヲ有ッテ居ルカト云フコトヲ吾々ハ判斷出來ルト思フ、先ヅ第一ニ今ノ質問ヲ縮メマシテ大臣ニ伺ヒタイコトハ、保護ヲ受ケナイデモ完全ニ立チ得ルト云フコトヲ、確立ノ目標トスルコトニ御考ニナッテ居リマスカドウカ、此點ニ付テ大臣ノ御答辯ヲ願ヒマシテ、ソレカラ生産原價ノ比較等ニ付キマシテハ長官ナリ、ソレノ方カラ伺ヒタイト思ヒマス

マスルガ、丁度御尋ノ如ク私共モ考ヘテ居ルノデアリマス、實ハ幸ニ此度此案ガ御協賛ヲ得マシテ法律トナリ、其法律ノ施行ニ依リマシテ、幸ニ私共ノ理想ト致シテ居リマシタ所ノ事業ニ於ケル企業合同ガ實現致シタト致シマスレバ、其合同實現ノ曉ニ於テ、企業本位事業經營ノ立場カラ最モ心配スベキ點ハ、茲ニ各社ノ間ノ精神的、物質的競争ノ狀態ガ終熄致シマシテ、比較的國家一元本位ノ企業組織ガ成立チマスル結果、各地ノ間ニ、殊ニ理事者、従業員ノ間ニ精神上ノダルミガ參リマシテ、切磋琢磨ノ實績ガ擧ガラナクナッテ、技術ノ進歩、作業ノ改善、或ハソレ等ノ事情ニ伴ッテ面白クナイ狀態ガ起ラヌトモ限ラヌト思ヒマス、是ニ於テ此合同組織ヲ鞭撻致シマスル唯一ノ要素ハ、出來得ル限り早キ機會ニ於テ、從來國家ニ依ッテ與ヘラレマシタ所ノ獎勵保護ノ形式カラ脫落サセル、斯ウ云フコトニアラウト思ヒマス、ソレガ新シキ刺激ニナリ、新シキ獎勵劑ニナリマシテ、此一元本位ノ企業ガ依然競争狀態ニ置カレテ居ルガ如キ中ニ、精神上ノ緊張味ヲ起スト云フコトガ必要デアラウト思ヒマス、其點カラ考ヘマシテモ、此合同組織ノ會社ガ今後目標トシテ進ンデ行ク點ハ、出來得ル限り早

○中島國務大臣 只今櫻井君ノ御尋デアリ

キ機會ニ國家ノ保護恩惠ヨリ離レルコトニアラウト思ヒマスカラ、申スマデモナク、其點ニ付テハ十分留意セシメタイモノダト、私自身トシテハ考ヘテ居リマス

○中井政府委員 只今ノ御尋ノ中、印度ノ鉄鐵ノコトニ付テノ御尋ガゴザイマシタガ、是ハ私ノ申シマシタコトモ野田政府委員ノ申シマシタコトモ双方トモ其通りデゴザイマシテ、印度ハ餘程地理的ノ條件ガ勝レテ居ルノデゴザイマス、結構炭坑ニ近イ所ニ工場ガゴザイマシテ、其上ニ印度ノ政府ハ鐵道ノ運賃ヲ餘程割引シテ居リマス、我國ニハ鐵道ノ割引ハゴザイマセヌ、ソレカラ尙ホ鉄鐵ヲ造リ、鋼ヲ造ッテ居リマス工場ニ對シテハ、鑛山ニ對シテ相當厚イ程度ノ政府ノ補助ガゴザイマス、左様ナ條件ノ下ニ、國內ハドウデアアルカト申シマス、モウ最近ズツ續イテ鉄鐵ニ付テハ六十五留比デ賣ッテ居リマス、之ヲ今日ノ爲替デ換算致シマスレバ七十圓以上ニモナルノデゴザイマスガ、ソレガ内地ニ印度鉄トシテ持ッテ參リマス時ニハ運賃ヲ加ヘ、關稅ヲ加ヘテ四十圓程度ニ入ッテ來テ居リマス、斯ウ云フヤウナ事實デゴザイマス、ソレカラ尙ホ工場原價ハドウデアアルカト云フ御尋デアリマシタガ、是ハ私共知リタイト苦心シテ居

リマスガ、中々知レマセヌ、唯ソレヲ推測スル材料トシテドウ云フ値デ賣ラレテ居ルカト云フコトガ、長イ間ノコトヲ御覽戴キマスレバ、自ラ其間ノ經濟事情ノ相違ノ點ガ御了解願ヘルト云フ積リデ、先程私ハ申上ゲマシタ、尙ホ後程其材料ヲ差上ゲタイト存ジマス

○櫻井委員 工場原價ガ得ラレスト云フコトデアレバ、洵ニ是ハ致方モナイコトデアリマス、是ハ少シ他ノ問題ニナリマスケレドモ、出來得ル限り、是ハ私共判斷ヲ爲ス基礎ニナル問題デアリマスカラ、出來ルダケ其生産原價ニ近イ、又ソレヲ判斷スル材料ニナルモノヲ御示シテ願ヒタイと思ヒマス、ソコデ此國際的ノ關係ニ於キマシテハ、生産條件ガ我ニ於テ必シモ不利デナイ、物ニ依ッテハ非常ニ良イ物モアル、斯様ニ私共ハ判斷シテ宜カラウト思ヒマス、ソコデ次ノ問題トシテ我ニ於テ全ク缺如シテ居ルモノハ組織ガ宜シクナイコトデアアル、又其他ニモ問題ガ色々アラウト思ヒマシタガ、先ヅ統制ト合理組織ヲ持タヌ、ソレヲ補フコトガ此度ノ合同問題ノ眼目デアルト思ヒマス、ソコデ先ヅ組織ガ問題ニナッテ來ルノデアリマスガ、先日來ノ御説明ニ依リマシテ、既有設備ニ對シマスル所ノ鉄鐵

ノ殆下大部分ハ、此度合同出來ル、政府ノ御見込デハ其中ノ淺野造船ダケガ省カレ

ト思ヒマス

テ居ルヤウニ私ハ判斷致シマスガ、鉄鐵ニ於テ七萬噸内外、ソレハ大シタ問題デナイ、是ハマア大體ニ於テ解決スル時機モアラウ、左マデノ問題デナイ、併シ鋼材ノ問題、是ハ色々各般ノ事情ガアッテ、急ニハ行カナイケレドモ、マア將來之ヲ纏メ得ルダラウト云フ風ニ理會セラレル所ノ御説明デアリマスガ、私ハ國家ガ斯ウ云フ大國策ヲ決定スルニ際シテ、モウ少シ強イハッキリシタ、責任ヲ持ッテ御答辯ヲ私ハ願ヒタイと思フノデアリマス、唯茲ニ吾々ノ心配致シマスコトハ、組織ニ依ッテ斯業ノ國際的競争力ヲ一ツ新ニ生ゼシメヨウト云フノデアリマスガ、ソレガ鉄鐵ダケニ止ッテ、鋼材ニ於テハマダ見當ガ付カナイ、斯ウ云フコトデアッテハ、吾々ハ合同ニ依リ、組織ニ依リ、合理化ニ依ッテ期待セラレル所ノ結果ガ非常ニ弱メラレテシマフト思フ、其目的ガ達セラレナイコトニナル、斯様ニ考ヘル、ソレ故ニ商工大臣ハ製鋼ノ方ニ對シマシテ、既存能力ノ何割ヲ將來合同セシムル、私ハドノ會社トカト云フコトハ申シマセヌ、統制ノ上カラ考ヘマシテ、其何割ヲ合同セシメル決心デアルカ、其決心ヲ一ツ伺ヒタイ

○中島國務大臣 御尋デゴザイマスガ、先

ヅ十一社ハ現ニ目標ト致シテ居リマスガ、遅カレ速カレ此目標ニハ達シ得ルト云フ私ハ確信ヲ有ッテ居リマス、唯屢、申上ゲマス通り、是等ノ會社ト債權者トノ間ノ折合ヲ付ケマスルト云フコトハ、往々ニ當該會社ト其當該會社ノ債權者トノ間ニ於ケル單獨ナル交渉ニ委シテ置キマシテハ、或ハ實蹟ガ舉ラヌト云フヤウナコトモアリマセウカラ、相當ニ政府モ骨ヲ折り、又場合ニ依リマシテハ評價審査委員ナドノ盡力ニモ俟タザルヲ得ナイコトモアルカト思ヒマスケレドモ、兎モ角モ大體ニ於テ製鐵事業ニ於ケル既存企業者ノ間ニ合同ガ成立チマスレバ、此合同ト離レテ經營ヲ持續致シテ參ラウトスル事情ガ、甚ダ不利ニナッテ參ルト思ヒマスカラ、内外ノ事情ニ促サレテ結局製鋼業者ノ合同モ出來ヨウト思ッテ居リマスガ、是等ノ私共ノ目標ト致シテ居リマス企業合同ガ完成致シマシタ曉ニ於テハ、現在ノ製鐵所ノ能力ト相合セマシテ、大體日本ノ製鋼能力ニ於ケル八割チヨット足ラズノ合同ガ可能デアアル、斯ウ信ジテ居リマス

○櫻井委員 サウ致シマス昨日中井長官ノ御説明ニモアッタト思ヒマスガ、製鋼業者

ニ對スル、所謂群小ト云フコトハ當リマス
マイガ、小イ者ニ對シテハ半製品若クハ原
料ノ供給ヲシテ、サウシテ援助モシ統制ヲ
保テ行ク、之ニ相當ノ便宜ヲ與ヘテ行ク、
斯ウ云フコトニ解セラレト思ヒマスガ、是
ハ將來殘ルモノト見ラル、二割見當ニ當ル
モノガソレニ該當スル、斯ウ考ヘテ宜シイ
ノデアリマセウカ、モウ一ツハ御答辯ノ御趣
旨ニ依ッテ判斷致シマス、此度製鐵會社ノ
合同之ニ製鐵所ヲ加ヘルト、從來一貫作業ノ
無イ所モ、一貫作業ヲヤルコトニナリマス
カラ、茲ニ銑鐵ト製鋼ト兩方兼ネタル所ノ
大合同會社ガ出來ル、所謂八割ノ製鋼業社
ハ之ニ對シテハ競争力ヲ有チ得ナイデ、其
地位ヲ自覺シテ合同ガ自然出來ルモノデア
ル、サウシマスト之ヲ反面カラ申シマス
ト、殘リノ小サナ二割ノ者ニ對スルヤウナ
便宜ハ與ヘナイ、寧ロ彼等ヲシテ競争ニ堪
ヘナイ、自覺シテ合同ニ入ッテ來ルト云フ
ヤウナコトニ、壓迫ノ御意思デナクトモ自
然サウナル、其結果トシテ目標トスル合同
ガ完全ニ行ク、斯ウ云フ意味ニ解釋ヲシテ
宜シイノデアリマセウカ、此點ハ大臣ニ御
伺ヲ致シマス

○中島國務大臣 只今御答申上デマシタヤ
ウナ考ヲ私ガ有ッテ居リマスノハ、今回ノ

法案ガ、其實質ニ於テハ必シモ合同強制ノ
案デハナイト思ヒマス、思ヒマスケレド
モ、一體只今迄ニ屢、合同問題ノ起ル毎ニ此
合同全體ノ成行ニ對シマシテ、關係會社ガ
色々懸念致シテ居リマスル點モ分ッテ居リマ
スルノデ、隨テ是亦屢、申上ゲルヤウナ譯デ
アリマスガ、其企業ニ直接關與致シテ居リマ
スル理事者ニハ、直グニ其利害得失ハ分ル
コトデアリマス、唯ソレ等ノ會社ニ年來取引
關係ヲ持ッテ居リマシタ債權者デアリマス、
中ニハ往々ニシテ多年利息ノ支拂ヲモ怠リ
勝チニナッテ居ル債務會社モゴザイマシタ、
ソレガ昨今漸ク、是モ一時ノ景氣カモ存ジ
マセヌガ、昨年末以來ノ小康狀態ニ伴ヒマ
シテ、利息ノ支拂モチヤンノト出來、動
モスレバ元本ノ一部ノ償還ヲモ出來ルト云
フヤウナ事情ニナツタ爲ニ、債權者モ一安心
ト云フ心持モアリマセウト思ヒマスガ、此
債權者ノ理會ヲ得、諒解ヲ得ルト云フコト
ガ、債務會社ニ取ッテ可ナリノ問題ダト思
ヒマス、是ハ從來私モ自分デ手掛ケマシテ
——今度ノヤウナ根本の方針ニ基イタル合
同促進デハゴザイマセヌガ、各種ノ利害ニ
鑑ミテ合同シタ方宜シカラウト思ヒマシ
タガ爲ニ、其間ニ多少ノ配慮ヲ試ミマシタ
經驗カラ申シマシテモ、債權者ノ思惑心理

經驗カラ申シマシテモ、債權者ノ思惑心理

ト申シマスルモノハ、中々解消シ惡イノデ
アリマシテ、唯此度ハ國家的ニ、國策ノ上
カラ斯ウ云フ機運ガ動イテ參リマスルコト
デゴザイマスルカラ、債權者ニ於テモ、此
國策カラ出發致シテ參リマシタ合同機運ニ
背馳スル場合ノ、其利害得失ニ付テハ、從
來ヨリハ餘程異ッテ考ヲ持タシメ得ルトモ
思ヒマスルシ、又只今申上ゲマシタ其債務
會社ニノミ此話ヲ委セマスコトモ、事ノ結
果ヲ舉ゲマスル上ニ於テ物足ラヌ點モアリ
マスルガ故ニ、是ハ政府モ、國策トシテ此
事ヲ考ヘ、此事ニ著手致シマシタ限リ、政
府モ相當ニ此間ニ配慮ヲ試ムベキモノデモ
アリ、殊ニ各種ノ機關ガソレノ責任ヲ負
ウテ立ッテ參リマスル以上ハ、是亦其機關ニ
依ル相當ナル盡力モ試ムベキ餘地ガアラウ
ト思ヒマスルノデ、大體ニ於テ合同ノ大勢
ニ對シマシテハ、私一個ト致シマシテ、樂
觀ヲ持ッテ居リマス、斯ノ如クニ致シマシ
テ、此銑鐵ノ一貫作業ニ依ル大規模ノ下ニ、
同業中ノ大キナモノガ、其作業ヲ統一シテ
參リマシタ結果、只今申上ゲマス通りニ、
我國ノ製銑、製鋼事業ノ約八割ハ占據スル
コトガ出來マス、其他ノ群小——ト申シマ
スルト、語弊ガゴザイマスルケレドモ、ソ
レ等ニ向ッテハ半作品ヲ供給致シテ參リマ

シテ、大小相俟ッテ生産販賣上ノ統制ヲ期
スルコトガ可能デアル、斯ウ信ジテ居リマ
ス

○櫻井委員

案ハ強制デナイニ致シマシテ
モ、製鋼業ノ八割ヲ目標トシテ、ソレハ合
同サセ得ル、其商工大臣ノ狙ヒニハ堅イ決
心ガアルコト、私ハ推測致シマス、如何ト
ナレバ、ソレ程マデニヤラナケレバ、是ハ
組織ノ上ニ於テモ、總テノ統制ノ上ニ於テ
モ目的ガ成立タヌ、案ノ效果ヲモウ餘程失
テシマフ、デアルカラ是點ハ商工大臣ガ、
腹藝デ行カレル積リデアラウ、斯ウ私ハ推
測スルノデアリマスルガ、ソコニ少シ私ハ
見方ノ相違ガアル、ト申シマスノハ、商工
大臣ハ、自然ニソレデ運ンデ行ケル、斯ウ
御考ヘニナッテ居ルト私ハ考ヘマスケレド
モ、併シ私ガ反對ノ見方ヲスル譯ハ、銑鐵
會社ガ茲ニ製鐵所ト一緒ニナッテ、盛ナル陣
容ヲ整ヘテヤリ出ス、相當ノ競争力ヲ持チ
マス銑鐵一貫作業ヲヤッテ居ラナイモノモ
入ル、ソコヘ滿洲ニ於テ是亦盛ナ勢デアル、
ドウシテモ製鋼業者ハ脅威ヲ受ケザルヲ得
ナイ、ソコデ茲ニ先程御尋致シテ既ニ御回
答ヲ得タ問題デアリマシテ、將來ハ保護ヲ
止メル、サウスルト保護ハナクナリ、相手
ノ競争力ガ強クナル、サウスルト製鋼業者

ハ、是ハ段々弱ラザルヲ得ナイノデアリマス、是ハ製鋼業者ガ惡イト思フ、直チニ入ッテ來ナイカラ惡イ、其惡イモノガ弱ルノハ當然カモ知レマセヌ、ケレドモ、ソコニ、國家ノ眼カラ見テ、惡イノダカラ勝手ニ弱ッテ居レト言ハレヌ場合モアル、問題ハ、唯商工大臣ガ是ハ自然ニ運ンデ行ケルト御考ニナッテ居ル問題ノ内容ガ、尙ホ困難ニナッテ來ハシナイカ、負債整理モ尙ホ困難ニナッテ來ハシナイカト云フヤウナコトデ、其時ニ又モウ一度國家ガ此問題ニ付何トカ國家の處理ヲシナケレバイカヌト云フコトニナリハシナイカ、ドウセサウナルコトナラ、茲ニ一舉ニモウ少シ國ノ目的ニ達スル上カラ強イ態度ヲ以テ出タラドウ云フコトニナリマスカ、之ハ付テ私想起シマスノハ、鐵道國有ノ問題デアリマス、鐵道ガ民營ニ特許セラレテ、其特許年限ノ未ダ完了セザル前ニ當ッテ、國家ハ國家ノ目的ノ爲ニ、鐵道國有ヲ時ノ内閣ニ依ッテ始メタ、ソレデ特許年限ノ完了セザル前ニヤルノハ無理デハナイカト云フ議論ガ、閣僚ノ中カラモ出タガ、其閣僚ノ反對モ退ケテ、此鐵道ノ國有ヲ斷行シタ、寔ニ國家ノ目的ノ上カラ必要ト認メレバ已ムヲ得ヌコトデアル、製鐵業ハ我國ニ於ケル所ノ總テノ産業ノ基礎デアル、

是カラ完全ニ良質低廉ノ品ガ量ニ於テモ不足ナク出テ、初メテ我が總テノ産業ガ國際競争力ヲ持ッテ行ク、ソレニ加フルニ、今回ノ如キ斯様ナ國際政局ニナッテハ吾々ハドウ考ヘタラ宜イノカ、軍器ノ獨立ヲ如何ニスルカ、軍需品ノ材料ヲ如何ニスルカ、殆ド一刻モ打捨テ、置ケナイ狀態ニアルノハ、即チ我國ニ於ケル所ノ鐵鋼業デアル、之ニ對シテハ永遠ノ國策ヲ樹テルノデナケレバナラス、製鋼業者ノドウモ銀行トノ話合ガ少々ムヅカシイカラ、是ハ軟カニ時機ヲ待タウ、是ハ中島商工大臣、甚ダ失禮デアリマスガ、財界ノ大先輩トシテ、野ニ在ッテ御盡力ニナル場合ニハ、洵ニ適當ナ御態度デアルト思ヒマスケレドモ、苟モ國家ノ目的ガ斯様ニ迫ッテ居ル、之ヲ解決スルニ當ッテハ、國務大臣トシテ是ハ國家ノ目的ノ爲ニハ、少々強制力ヲ加ヘテモ宜シイ、斯ウ云フ御決意ヲ持ッテ御行キニナッテハドウカ、此問題ハ審議ニ入ッタバカリデアリマスカラ、是等ノ點ハ政府ノ御考竝ニ議會ノ考ニ依リマシテハ、多少ノ變更ヲ加ヘルコトモ出來ルモノデアラウト信ズルガ爲ニ、斯様ナ質問ヲ致シマスガ、モウ少シ強制的ニオ遣リニナルト云フ御考ハ付キマセヌカ

○中島國務大臣 成程此問題ヲ國策ノ上カラ考ヘマシテ、丁度只今仰セノ如ク、鐵道

國有ノ場合ニ於ケルガ如ク、頭カラ國家ノ評價ニ依ル價格ヲ以テ鐵道ノ買收ヲ行ッタト云フコトヲ考ヘマスレバ、稍、徹底ヲ缺クヤノ感モ無キニシモ非ラズデハゴザイマスケレドモ、私ハ幾分時ノ調節ト云フモノニ一種ノ妙味ヲ持ッテ居ルト見ル者デアリマシテ、茲ニ多大ノ無理ナクシテ、所謂時ノ要素ト云フモノガソレニ加ハッテ、其間ニ只今申上ゲマスヤウナ自然ニ調節ガ行ハレテ、結局其様ニ法ノ嚴正味ヲ發揮致シマセヌデモ、事物自然ノ理數ニ依テ、此合同ガ成立チマスコトヲ信ズルノ餘リ、先ヅ本案ノ如キモノヲ以テ、妥當ト思ッテ居ル次第デアリマス

○若宮委員長 櫻井君ドウデゴザイマセウ、午後ニ繼續致シマスカラ、何處カ切り

ノ好イ所デ御止メヲ願ヒタイト思ヒマス

○櫻井委員 ソレデハ此邊デ……

○松本委員 私チヨット材料ノコトヲ御願

シテ置キタイノデアリマス、製鐵所ノ方カラ原料關係ノ借款内譯ト云フモノヲ戴キマシタ、是ハ私ガ御願シタノデアリマスガ、此御出シ下サツタ材料ハ、製鐵所ト預金部ノ借款ノ關係ガ主ニナッテ居リマス、製鐵所ガ

貸主ニナッテ、貸シタ其先ノコトガ明ニナッテ居ラヌノデアリマス、製鐵所ト漢冶萍、ソレカラ裕繁公司、此間ノ借款ノ表ヲ御示シヲ願ヒタイト思ヒマス、其貸付ノ日付ト元

金、利率、延滞ノ利子、ソレヲ御示シヲ願ヒタイ、ソレカラ序ニ鑛石ヲ御買取りニナル時ニ、其中カラ幾ラカ拂フコトニナッテ居リマスガ、其數字ヲ一ツ御示シヲ願ヒタイ、ソレカラ此借款ノ契約ヲ見ルト云フト、漢冶萍ト云フモノ、資産、營業狀態ガ分ラナケレバ、此借款ガ返ルカドウカ分ラナイノデアリマスガ、漢冶萍ノ最近ノ決算報告ガ若シ御手許ニアリマシタラ御示シヲ戴キタイ

○中井政府委員 承知致シマシタ

○若宮委員長 是デ休憩致シマス、午後ハ

正一時半ニ參集ヲ願ヒマス

午後零時三十分休憩

午後一時四十八分開議

○若宮委員長 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キ

マス——櫻井君

○櫻井委員 菅原君ノ御質問ニモ一寸出マ

シタ事柄ナノデスガ、滿洲ニ於ケル鞍山、本溪湖、之ヲ合同計畫ノ中ヘ御加ヘニナラナカッタ理由ヲモウ一應伺ヒタイ

○中井政府委員 私ヨリ御答致シマスガ、

考方ト致シマシテハ、全部合同スルト同ジヤウナ考方ヲ致シテ居リマスガ、形ト致シマシテ、滿洲ノ二ツノ工場ガ内地ノ合同會社ト一緒ニナルト云フノハ、形ノ上カラ滿洲ノ方デモ希望サレナイノデアリマス、ト申シマスノハ、サウナリマス。滿洲國ノ工場ハ日本ノ合同會社ノ一支工場ニナルコトニナル、ソレハ形ノコトデアリマス、又實質ニ於テモ色々政府ノ助成ノ關係、税ノ關係、色々錯雜シタ事情モアリマスシ、ソコデ内地ハ内地デ合同ヲ完成シ、滿洲ハ滿洲デ、滿鐵ト本溪湖トノ此二ツノ會社ノ合同ヲ企テ、其間ニ十分ノ聯繫ヲ取ル爲ニ、先刻商工大臣カラ述ベラレマシタ特別ノ機關ヲ作ッテ、經營上ニ於テ統制ヲ付ケ、又其出來マシタ製品ノ販賣等ニ付テハ、只今モ現ニ共同販賣ノ會社ガ出來テ居リマスガ、左様ナ機關ヲ更ニ必要ニ應ジテ之ヲ適當ニ設ケマシテ、何等其間ニ間隔ノナイ統制ガ行ハレル積リデアリマス、又之ヲ外國ノ例ヲ以テ見マシテモ、亞米利加ニ於キマシテモ、獨逸ニ於キマシテモ、必シモ全部ノ合同ハ致シテ居リマセヌデモ、幾ツカノ大キナ合同ガ出來テ、其間ニ十分ノ連絡統制ガ出來テ居ルト云フヤウナコトモゴザイマス

ルガ、左様ナ方法ニ依ッテ兩者ノ間ノ聯繫ガ十分取レル見込デ居リマス

○櫻井委員 今仰セラレルヤウナ色々協定

ノ機關ヲ設ケテ、連絡ヲ取レバ取レルト云フ御話デアッタと思ヒマスガ、サウ云フ論法ヲ以テスレバ、内地ノ合同モ至難ナ場合ガアレバ、皆其論法ニ當符ルコトニモナリ得ルト思ヒマス、外國ニハサウ云フ例モアルカモ知レマセヌ、此點ハ商工大臣ニ御伺致シタイノデアリマスガ、日滿經濟ノ統制問題——私ハ此點カラ考ヘルト、ドウシテモ是ハ加フベキモノダト云フ、此信念ノ下ニ御尋シタイノデアリマスガ、徐々ニ起ッテ來タ經濟關係デアレバ、其間ニ自ラ一ツノ陶冶ヲ經テ來マスカラ、是ハ急激ナル變化ガ起ラナイト思フノデアリマスガ、日滿經濟ノ關係、滿洲ハ兎ニ角積極的ニ新シク大キク色々ノコトヲ計畫ショウト云フ、是ト日本トノ經濟關係ヲ餘程シツクリ旨クオヤリニナラスト、私ハ急激ナル變化ガ起ルト思フ、ドウシテモ是ハ、拓務大臣ハ日滿經濟ヲ相互扶助ノ關係ニアルト言ハレルガ、是ハマア言葉ヲ綺麗ニシタコトデアラウガ、實質的ニハ一ツノ單一經濟、恐ラクハ私ハ經濟界ノ常識ハ單一經濟デ行ク、斯ウ云フコトニ決ッテ居ルノデハナイカト思フ、

若シソレガ事實デアルトスレバ、殊ニ今度

ノ合同ノ目的ノ第一項ニ掲ゲテアル所ノ完全ナル統制、而モ完全ト云フ御言葉ヲ御使ヒニナッテ居ル、即チ完全ナル統制ヲ期スルト云フコトデアレバ、ドウシテモ滿洲ヲ加ヘナケレバナラス、何カ準備ガ整ハナイモノガアルカト考ヘテ見ルト、滿洲デハ昭和製鋼所ノ事業計畫ガチヤント立ッテ居ル、又本溪湖ハ從來カラア、云フ風デヤッテ居ル、此頃大分儲カッテ居ルト云フコトデアリマスガ、此二ツト云フモノハ、整理ヲスルトカ何トカ、日本ノ製鋼會社ヲ合セルヤウナ面倒ナ問題ハ一ツモナイト思フ、而モ滿洲ハ數日前ニ滿洲ノ經濟開發計畫ト云フモノヲ組織的ニ立テ、發表シテ居ル、寧ろ鐵ノ問題ニ付テハ、向フハ既ニ方針ガ決ッテ居ルト思フ、此方ガ寧ろ遅レテ居ル位デアル、ケレドモ是ハドウシテモ一ツニ考ヘテ行カナケレバ、完全ナル統制ト云フコトハ出來ナイト、私ハ斯様ニ考ヘマスガ、是ハ將來一ツニスル御考デアリマスガ、又サウ云フ豫定モ何モノナイト云フコトデ、唯兩者ノ間ニ連絡ヲ期スル機關ヲ設ケテ行ク、是ダケノ考デアリマスガ、其點ヲハッキリ伺ヒタイ

シテ矢張合同ノ中ニ加ヘルヤ如何ト云フ點ニ付キマシテハ、多少ノ考慮ヲ加ヘタ譯デアリマス、唯滿洲ガ獨立國家デアルト云フ關係上、今此二社ヲ一ツニ致シマス上ニ於テハ、其處ニ色々國家ト致シマシテ、獎勵助成ノ條件ヲ考ヘマスル上ニ於テ、多少ノ考慮ヲ要スル所以ノモノガアル爲ニ、先程申上ゲマシタ通りニ、差當リ特殊ノ機關ヲ經マシテ、國策上ノ見地カラ兩者ノ連絡ヲ取り、生産販賣上ノ統制ニ關スル事項、竝ニ國トシテ之ニ獎勵保護ヲ與ヘマスル條件等ニ關スル事項ハ、總テ團體ノ議ニ付シマシテ、兩者ノ統制ヲ全カラシメタイト云フコトニ止メテ居リマス、將來若シ日滿兩者ヲ打ッテ一團ト爲スベキ機運ガ到來致シマシテ、又ソレニ何等、只今心配ヲ致シテ居リマスルヤウナ事情ガ考慮ヲ要シナイト云フコトニナリマスレバ、其際ニ之ヲ一ツニ致シマス事モ、洵ニ結構ナコトデアリマス、今分ノ所ハ、先程申上ゲマシタ通りノ組織ニ依ッテ、兩者ノ統制ヲ圖ル、此限度ニ止メタイト思ッテ居ルノデアリマス

○櫻井委員

ソレデハ滿洲ノ鉄鋼ト内地ノモノトノ競争ガ避ケテ行ケル、當分ノ所ハ是等ノコトハ懸念ガナイト考ヘテ差支アリマセヌカ

○中島國務大臣 此際滿洲ノ企業ヲ一ツマ

○中島國務大臣 ドウゾ左様ニ御承知戴キマシテ、更ニ今ノ所ハ不都合ハナイト思ヒマス

○櫻井委員 先へ進ミマスル參考ノ爲ニ伺ヒタイノデアリマスガ、私共ハ從來鞍山ノ鑛石ナルモノハ非常ニ貧鑛デアッテ、滿鐵ハ何時モ是デエライ損ヲシテ居ル、將來多クノ望ヲ掛ケルコトガ出來スト云フ風ニ、數年前マデ傳ヘラレテ居ッタノデアリマス、所ガ近來ニ至リマシテ選鑛法ニ非常ニ成功ヲ致シテ、三十二三カ六七マデノ「バーセンテージ」ノモノガ、所謂研究セラレタ選鑛法ニ依ッテ六十ノ「バーセンテージ」ヲ得ル、而モ其選鑛ニ要スル費用ハ極メテ僅デアル、斯様ナコトヲ伺ッタノデアリマスケレドモ、吾々ハ素人トシテソレヲ直グ信ジテ宜イカドウカ、而モ是ガ吾々ガサウ認メルコトガ出來ルト出來ストハ、我國ノ製鐵國策ノ上ニ、原料問題トシテ大ナル問題ヲ殘シテ居ル、是ハ商工當局ハドウ云フ風ニ御覽ニナッテ居リマスカ、一ツ御聽カセテ願ヒタイト思ヒマス

○野田政府委員 只今御質問ニナリマシタ現在鞍山デ使ッテ居リマス鐵鑛ハ、其傍ニ太孤山ト云フ山ガアリマシテ、其處ヲ掘ッテ約三〇%少シ出タ位ノ鑛石ヲ用ヒマス、

少シ技術的ノ事ニ互リマスガ、ソレハ現在「マグネット」ニ掛カラナイ赤鐵鑛化シタ鑛石ナノデアリマス、ソレハ粉ニシマスニモ、岩見タイナモノデ中々粉ニ出來ナイ爲ニ、「コークス」ヲ拵ヘマス時ニ熔鑛爐カラ出マス所ノ瓦斯其他ヲ以テ、其鑛石ヲ一遍燒キマシテ、磁鐵鑛ニ變ヘルノデゴザイマス、サウスルト粉ニモナリ易クナリマス、ソレヲ粉ニシテ磁石デ分ケマシテソレヲ燒クノデゴザイマスガ、其費用ガ、色々計算ノ方法モアラウト思ヒマスガ、只今五圓カラ六圓ノ間位デ出來テ居ルト思ヒマス、ソレガ五十八九%位ニハナルト思ヒマス、デアルカラ彼處ノ山デソレヲ使ッテ居ル分ニハ、傍ノ製鐵所ト較ベマシテ、餘リ鑛石ニ非常ニ費用ガ掛ッテ居ルトハ言ヘナイノデアリマス、將來現在ノ太孤山ガナクナッタナラバマダ附近ニモアリマスシ、更ニ進ンデ弓張嶺ト云フ處ガゴザイマス、此處ニハ五〇%以上ノ富鑛ガマダ多少殘ッテ居リマス、ソレト更ニ弓張嶺ノ貧鑛ヲ用ヒテヤリマス、進ンデ只今長官カラ話サレマシタヤウニ滿洲ノ製鐵業ガ統一サレマシタ曉ニハ、現在本溪湖デ用ヒテ居ル廟兒溝ノ方、其他附近ノソレニ類似シタ山ノ鑛石ヲ用ヒマスレバ、鉄鑛ノ費用モ御心配ニナルヤウニソンナニ高ク

ハナラヌヤウニ私共技術的ニ考ヘマス

○櫻井委員 次ニ私ハ製鐵業確立ノ上カラ最モ大切ナ原料ノ問題ニ付テ御尋ヲ致シタイト思ヒマス、私共素人カラ考ヘマシテ最モ不安ニ感ジマスコトハ、原料ノ問題デアリマス、ソレハ必要トスル原料ノ鑛石ニ付テ申シマス、内地デハ漸ク七%シカナイ、朝鮮ガ一三%、滿洲ガ三〇%、馬來半島ガ三一%、支那ガ一九%、斯ウ云フ割合ニ鑛石ガ現在マデノ所採ラレテ居ルヤウデアリマス、サウシマス、支那ト馬來半島デ丁度五〇%ニナル、鑛石ノ半分ハ支那カラ先ト云フコトニナル、今國際政局ガ斯ウ云フ風ニナリマシテ、經濟封鎖ガドウナルカト云フ事ガ問題ニナッテ居ル、昨日ノ御説明デハ長期ノ契約ガアルカラ何等原料ハ心配ハナイ、斯ウ云フコトデアリマシタガ、是ハ安全ニソレヲ持ッテ來ラレルコトヲ前提トシテ居ル、私ハ決シテソレヲ安全ニ持ッテ來ルコトガ出來ナイト云フヤウナ場合ヲ想像致シタクハナイノデアリマスケレドモ、併シ國家ハ有ユル場合ニ付テ、最モ安全ナル計畫ヲ有ッテ居ラナケレバナラヌト思ヒマス、陸海軍大臣ガ國防ノ上ニ責任ヲ有ッテ、是ダケノ事ヲシナケレバナラヌ、アレダケノ事ヲシナケレバナラヌト云ッテ色々

ナ準備ヲ整ヘテ、二重三重ノ計畫ヲシテ責任ヲ有ッテ居ラレルヤウデアリマスガ、私ハ産業經濟ヲ掌ラレル國務大臣ハ、如何ナル場合ニ於テモ總テノ國ノ活動ヲ賄ッテ行ク所ノ經濟計畫ニ對シテハ、十分ナル準備ヲ、陸海軍大臣ニ劣ラズ、否、ソレ以上ニ有ッテ居ラレルコト、私ハ信ズルノデアリマスガ、最惡ノ場合ヲ考ヘテ、此半分ノ原鑛ニ萬一何等カノ障礙ガ起ッタ場合ニ於テ、之ニ對シテ内地、朝鮮、滿洲ニ於ケル鑛石量ニ於テ直グ代リ得ルカドウカ、而シテ又代リ得ルトシテ其經濟關係ガドウナルカ、更ニ又之ヲ現在ノ儘デハ經濟上條件ガ惡イケレドモ、何カ之ニ對シテ經濟條件ヲ好クスル所ノ研究ヲナサッテ居ラレルカドウカ、此三點ニ付テ御伺ヲ致シタイ

○中島國務大臣 鐵鑛石ノ供給ノ關係ニ付キマシテハ、先頃長官カラモ申上ゲマシタ通り、先ヅ平生無事ナ場合ニ於キマシテハ、比較的富鑛デアリマスル南洋ノ鑛石ヲ多分ニ使ヒマスコトガ、距離ノ上カラ申シマスト一番遠距離デハゴザイマスケレドモ、其成分ノ豐富ナルガ爲ニ、之ヲ用ヒマス上ニ於テノ採算率ハ、決シテ支那、朝鮮ノソレニ劣ッテ居ル譯デハアリマセヌ、隨テ之ヲ平生ハ用ヒテ居ルヤウナ譯デアリマス、一朝

有事ノ場合ニ際シマシテ、製鐵所ハ國防上極メテ重大ナル關係ニ在リ、重要ナル責任ヲ有テ居リマスル關係上カラ致シマシテモ、現在既ニ二百五十萬噸内外ノ貯鑛ヲ致シテ居リマス、是ハ大體ニ於テハ一年半ノ作業ヲ維持致シマスル平生ノ準備量デアリマスガ、若シ一朝有事ノ場合ニ際シマシテ、假ニ現在ノ鑛石供給ノ途ガ杜塞致シタト云フ場合ニ、ドウ云フコトヲ考ヘテ居ルカト云ヒマス、専門的ノ事ニ付キマシテハ長官、技監ヲ煩シテ御説明申上ゲタイト思ヒマスガ、大體ノ事ヲ申上ゲマスレバ、朝鮮ノ咸境北道ニ茂山ト云フ鐵鑛山ガゴザイマシテ、是ハ成分ガ五〇%内外ノモノガ、只今ノ測量ニ依リマシテ無慮一億萬噸アラウト云フコトデアリマス、此茂山ニ對シマシテハ、既ニ多少交通機關ノ施設ガ進行シテ居リマシテ、是ハ固ヨリ茂山ノ石ヲ出ス爲ノ交通機關デハアリマセヌケレドモ、朝鮮ノ咸境北道ニ於ケル交通機關ノ關係上、其鐵道ヲ利用シ得ル便ガ茂山トシテハゴザイマス、若シ一朝只今ノヤウナ場合ニ際會スルト致シマシテ、其茂山ニ交通機關ヲ設ケテ、之ヲ咸境道ノ港ヘ搬出致シマスル爲ニ、各般ノ施設ニ要シマスル時日ガ、先ヅ一年一寸ト見テ居ルノデアリマス、其

間ハ二百五十萬噸ノ貯鑛ヲ維持致シテ參リマシテ、斯ル場合ニ於テハ茂山カラ出ス、斯ウ云フ實ハ心意氣ヲ有テ居ル譯デアリマス、尙ホ技術的ノ乃至専門的ナコトニ付キマシテハ、私ノ説明ニ不充分ナ點ガゴザイマシタラ、長官、技監ニ煩シテ致シマス

○野田政府委員

只今ノ商工大臣カラノ御

説明デ殆ド盡サレテ居リマスルガ、命ニ依リマシテ私幾分技術的ノコトヲ附加致シタイト思ヒマス、其前ニ一寸宙ニ覺エテ居ルダケヲ訂正シテ置キマスガ、茂山ハ四〇%ト考ヘテ居リマス、ソレダケ申上ゲテ置キマス、平素何等障礙ガナイ時ニハ最モ安イ鑛石ヲ採ツテ、製鐵業ヲ行ヒマスノハ當然ノコトデアリマシテ、先程數字ヲ擧ゲテ菅原サンノ御質問ニ御答致シマシタ、アノ答辯ノ通りデゴザイマシテ、平素獨逸デモ殆ド或年ハ九〇%以上モ海外ノ鑛石バカリ使ッテ居リマス、英吉利デモ殆ド此通りデゴザイマス、本邦デモ矢張安クテ良イ物ヲ採ルト云フ、簡單ナ經濟原則ニ從ッテ居リマスノデ、普段ハサウシテ居リマスレドモ、本邦ノ如ク國內ニモ十分ニ普段鑛石ガ出マセヌヤウナ處デハ、ソレニ對シマシテ只今大臣カラ御話ノアリマシタヤウニ、約二百五十萬噸ハ製鐵所デ有ッテ居リマス、又只今大

臣カラ御話ノアリマシタ茂山ノ外ニ、今度地震ノアリマシタ釜石ニモ吾々ハ約四千萬噸ハアルト先ヅ確認致シテ居ル譯デアリマス、其外ニ北海道ノ小樽ノ傍ニ俱知安ト云ッテ居リマス處ガゴザイマス、其處ニハ褐鐵鑛デハゴザイマスレドモ、約八九百萬噸ハアラウト信ジテ居リマス、兩方加ヘマシテ日本國內ニモ四千八九百萬噸アリ、其外朝鮮ニハ茂山ノ四〇%ノ一億噸、更ニ進ミマシテ先程申シマシタ本溪湖ノ廟兒溝、鞍山ノ大孤山ト云フ風ナ鑛石ニ付キマシテハ、只今ハ茂山ノ如キ、何等施設ガシテゴザイマセヌ、又釜石ト雖モ釜石鐵山自體ガ使ヒマスダケノ鐵シカ只今掘ッテ居リマセヌケレドモ、現在八幡ニアリマス貯鑛ヲ使ヒマス間ニハ、ソレ等ノ施設ガ技術的ニ出來ルト思ッテ居リマス、鑛石ニ付テハ一朝有事ノ際ニ於キマシテモ、經濟的ニ使用シ得ルト考ヘテ居リマス、併シ釜石ノ如キハ資本ガ違ヒマス關係上、又俱知安モ輪西ノモノデゴザイマシテ、是ハ今デハ手ヲ著ケルコトガ出來マセヌ、合同ガ出來マスレバ、是ハ非常ニ便利ニナルト思ウテ居リマス

○櫻井委員

茂山ガ四〇%デアルトスレバ、其場合ハ大分生産條件ガ惡クナル譯デアリマスガ、先刻其點モ何等カ惡クナラナ

イヤウニ御研究ニナッテ居ッタラ御發表願ヒタイト申シマシタガ、サウ云フ御答ハナカツタノデアリマス、唯私ノ痛感シマシタコトハ、殆ド鞍山ガ吾々ハ絶望ノヤウニ考ヘテ居リマシタノガ、五圓カ六圓以内デ以テ三〇%餘リノモノガ六〇%ニ出來ルト云フコトヲ今御認メニナッテ居ルヤウナ次第デアリマス、モウ一ツ何カ鑛石ヲ破壊シテ持ッテ來ル所ノ化學的研究ガ出來テ、其爲ニ尠四五圓位掛ッテ居ッタモノガ一圓以内デ運ベ

ル、此二ツノ理由デ鞍山ノ採算ハ非常ニ良クナッテ來タト云フコトヲ聞イテ、私ハ人間ノ力ハ實ニ偉イモノダ、ソシテ日本人モ偉イ世界ニ例ノナイ事ヲシタト云フコトヲ其時ニ痛感シタ、デアリマスカラ、今申シマスヤウニ有事ノ場合ヲ考ヘレバ、其場合ニ對スル所ノ釜石ニシロ、茂山ニシロ、條件ガ惡イノデアリマスカラ、ソレモ研究ヲ一ツ、是ハ申ス迄モアリマスマイガ、御進メニナッラドウダラウカト云フ考ノ下ニソレカラ次ニ私ハ此「スクラップ」ノ問題ヲ御尋シタイト思フ、今マデ私共ノ聽イテ居リマシタノニハ、是ハ製鐵技術上ドウシテモ「スクラップ」ハナケレバナラス、何カ私共ノ頂戴シタ資料ノ中ニモサウ書イデ

アルヤウデアリマス、而モ是ガ殆ド昭和六年デアリマス、五年デアリマスカノ統計ヲ見マシテモ、鋼ノ製造廻數以上ニ「スクラップ」ガ要ル、尤モ他ノ方ニモ使ハレテ居ルカモ知レマセヌケレドモ、兎ニ角多クノ量ガ要ル、而シテ内地デハ其七割位ノ供給シカナ、昭和四年五年アタリニハ三十萬廻位ノ輸入ガアツタカ知リマセヌガ、恐ラク昨年度アタリハ五十萬廻位ヲ輸入シテ居ルノデハナイカ、是ハ私共ハドウシテモ製鋼技術ノ上ニナクテハナラヌモノダト考ヘテ居リマシタガ、昨日ノ御説明ノ中ニ「スクラップ」ヲ成ベク使ハナイデ、他ノモノヲ使フコトガ出來ルヤウナ御説明ガアツタヤウニ思ヒマスガ、サウトシマスレバ其點ニ關シ技術上ノ御説明ヲ一寸簡單ニ伺ヒタイト思ヒマス、ソレカラ又是モ萬一輸入ガ困難ニナツ場合ニ、若シ必要デアルトスレバソレニ對シテ如何様ニ處理シテ行カレマスカ、此二點ニ付テ御説明ヲ願ヒマス

○野田政府委員 第一ノ御質問ノ茂山其他ノ貧鐵ノ處理ヲ研究シテ居ルカト云フ御質問ニ對シマシテ御答致シマス、廟兒溝——廟兒溝ト申シマスノハ本溪湖ノ山デアリマス、大孤山ト申シマスノハ鞍山ノ山デゴザイマスガ、ソレノ山ノ鑛石ヲ皆製鐵所

ニ集メマシテ、巨細ナル研究ヲ致シテ居リマス、殊ニ茂山ハ分析ダケデ見マシテモ、大孤山ノ鑛石ヨリハモット安ク富鐵ニ直スコトガ出來ルノデハナカラウカト云フ前提ノ下ニ、地質學者ヲ派遣致シマシテ鑛量ヲ第一ニ調べマシタ、各種ノ方面カラ採リマシタ資料ヲ持ッテ歸リマシテ、ソレニ付テ相當深イ研究ヲ進メツ、アルノデアリマス、幸ニ茂山ノ鑛石ハ磁鐵鑛デアリマシテ、只今大孤山ニ付テ申シ上ゲマシタヤウナ、一燒イデ磁鐵鑛ニ直シテカラ粉ニシナクテモ宜イヤウナ狀態デアアルノデアリマス、併シ唯機械デ頭カラ打ッ壞シマスヨリハ、火ニ掛ケマシテ脆クシテ壞シタ方ガ宜イト云フヤウナ研究モ致シテ居リマス、是ハ設備サヘ出來マスレバ、從來ノ吾々ノ技術ノ何ト申シマスカ、自信ニ依リマシテ十分ニ出來ル、立派ナモノガ經濟的ニ出來ルト云フコトヲ申上ゲテ差支ナイト思ッテ居リマス、ソレカラ「スクラップ」ノコトハ、是ハ櫻井サンノ御心配通り吾モ最モ「スクラップ」ニ付テハ心配致シテ居ルノデアリマス、鋼ヲ拵ヘマスル方法カラ一寸申上ゲナイト分リマセヌガ、鉄鐵ヲ或ル爐ニ入レマシテ、其處カラ空氣ヲ吹上ゲマス、サウシマス、空氣ノ中ノ酸

素ト鉄鐵ノ中ノ炭素ガ付キマシテ吹出シマシテ、後ニ鋼ダケガ殘ルト云フ方法ヲ、是ハ千八百五十六年頃ニ有名ナ「ヘンリー・ペセマー」ト云フ人ガ發明シタノデゴザイマスガ、ソレガ段々ニ中ニ塗リマス耐火物ナドノ研究ガ進ミマシテ、「ペーシック・ペセマー」ト云フモノガ出來マシテ、ソレガ「アルサス・ローレン」ノ近郊デ最モ燐ノ多イ鑛石ガ出マス、所謂獨逸ガ戰前ニ持ッテ居リマシタ處ニ其方法ガ行ハレマシテ、全盛ヲ極メタモノデアアルノデアリマス、所ガソレニハドウシテモ鑛石ニ燐ガナケレバイケナイト云フコトガ前提トナリマシテ、段々燐ノ鑛石ガ使ハレタガ、不幸ニシテ獨逸時代ノ「ロートリンゲン」ニ出マス鑛石以外ニハ非常ニ少イノデアリマス、ソレデ各國トモ時々ソレヲ眞似シヨウト考ヘマシタガ、ソレハ思切リマシテ、「ヘンリー・ペセマー」ト同時代ニ矢張「ウイリヤム・シーメンス」ト云フ人ガ發明シマシタ、爐ニ依ッテ鋼ヲ造ル方ガ便利ダト云フヤウニ考ヘマシテ、是ハ日本デ平爐ト譯シテ居リマス、今日殆ド日本ノ鋼ハ其平爐ノ方バカリデヤッテ居リマス、其平爐モ普通民間ガ持ッテ居リマス二十五廻爐ト申シマスノハ、一回挿入致シマス原料ノ重量ヲ標準ト致シタモノデアリ

マスガ、二十五廻爐六臺持ッテ居リマス、少クトモ「スクラップ」ヲ五割位ハ使用致シマセヌト非常ニ時間ガ掛ルノミナラズ、徒ニ爐ノ煉瓦バカリ溶カシマシテ、爐ノ生命ガ短クナッテ、非常ニ不經濟ニナルト云フノデ、大體「スクラップ」ガ相當自由ニ手ニ入リマス時ニハ「スクラップ」ヲ七割、鉄鐵ヲ三割、ソレヲ吾々ハ七三配合ト申シテ居リマスガ、ソレ位デヤッテ居ルノデアリマス、是ハ其方法デハ鉄鐵ガナケレバイケナイト云フ條件ガアルノデアリマス、所ガ外國ノ各社ノ——製鋼事業先進國デ色々苦勞シテ居リマス工場ノ中ニハ「スクラップ」ガ手ニ入ラナイ處ガ幾ラモアルノデアリマス、サウ云フ處デハ此「スクラップ」ノ代リニ鑛石法ト云フノヲ用ヒテ居リマス、是ハ熔鑛爐デ拵ヘマシタ鉄鐵ヲ熔ケタ儘只今申シマシタ平爐ニ移シマシテ、其工場デ多少鑛塊ノ屑ガ出來マス、其屑ガ「スクラップ」デアリマスカラソレヲ入レマスガ、ソレハ僅々十六七%シカナイノデアリマス、若シ只今申シマシタ小サナ爐デモ「スクラップ」法デ行キマスレバ、後ト續イデ「スクラップ」ヲ入レナケレバナラスモノヲ、鑛石法デ行キマスト鑛石ヲ入レマス、即チ鑛石ノ中ノ炭素ト鉄鐵ノ中ノ炭素ヲ燃シテ鋼ニ直スト云フ

方法ヲ用ヒテ居リマス、ソレガ所謂銑鋼一貫ノ方法デアリマス、製鐵所デハ大部分銑鋼一貫ノ方法デ「スクラップ」ヲ使ッテ居リマスノハ、大體製鐵所全體ヲ集メマシテモ「スクラップ」ハ二五%位シカ使ッテ居リマセヌ、後トノ七五%ハ銑鐵バカリデヤッテ居リマス、其中デ最モ古ク造リマシタ爐ガアリマスガ、其分ダケガ約五割位「スクラップ」ヲ入レテヤッテ居リマス、其外ニ「スクラップ」ナシデヤラウト云フ、所謂銑鋼一貫法ヲ進メツ、アルノデアリマス、又八幡邊リハ海岸デアリマスカラ、外國カラ「スクラップ」ヲ取リマスノニ、餘リ陸上ノ運賃ガ掛リマセヌノデ、比較的安ク取レマスガ、將來鞍山其他モット奥地ノ撫順ノ近クニデモ滿洲製鐵事業デモ起リマス時分ニハ、當然「スクラップ」ハ入ラナイノデアリマスカラ、鑛石法デ行カナケレバナラヌ、ソレデ吾々ノ將來ノ計畫ハ外國カラ取リ得ルダケノ「スクラップ」ハ利用スル、其以上ハ全然鑛石法ニ依ッテ進ンデ行クト云フ風ニ考ヘテ居リマス、尙ホ外國ノ例ヲ學ゲテ「スクラップ」法デナケレバイケナイデハナイカト云フ議論ヲサレタ一二ノ技術家ガアルノヲ聞イタコトガアリマスガ、サウ云フコトヲ若シ御讀ミニナッテ居ラツシヤルト、

誤解ガアルトイケマセヌカラ、更ニ附加ヘテ申上ゲマスガ、戰前獨逸ノ奥ノ方ノ上部「シレシア」地方邊リハ海岸カラハ遠ウゴザイマスシ、附近デ鐵ガ造ラレテ居ルコトガ少イ爲ニ、「スクラップ」ガ非常ニ少イノデアリマス、其處ラデ製鐵事業ヲヤラウトスレバ、勢ヒ只今申ス鑛石法デナケレバイケナカッタノデアリマス、所ガ歐羅巴大戰ノ結果「スクラップ」ガ一時非常ニ殖エマシタ爲ニ、折角上部「シレシア」邊リハ鑛石法デヤッテ居ッタ工場ヲ「スクラップ」法デモヤレルヤウニ直シタリ、或ハ「スクラップ」法デヤル方ガ安イ爲ニ、一時其方ニ方針ヲ變ヘタト云フコトガ外國雜誌ニモ出テ居リマス爲ニ、日本デモ直グソレガ全部デアルカノ如キ議論ガ出タコトモアルノデアリマスガ、實情ヲ申シマスト日本ノ如キハ大部分「スクラップ」ハ亞米利加邊リカラ取ルノデアリマスカラ「スクラップ」法ニ基礎ヲ置クト云フコトハ、將來頗ル不安ト考ヘマシテ、吾々モ飽迄モ銑鋼一貫ヲ日本ノ製鐵事業ノ主義トシナケレバナラヌト考ヘテ居リマス

工場、詰リ銑鐵ヲ外カラ纏メテ買ッテ居リマス工場デハ、銑鐵ガナケレバ鋼ガ出來ナイト云フ言葉ガアリマシタガ、是ハ「スクラップ」ヲ他カラ買ハナケレバ鋼ヲ造ルコトガ出來ナイト云フ言葉デアリマシタカラ、訂正致シテ置キマス、尙ホ最後ノ將來ノ事ヲ考ヘマスレバ、ドウシテモ外國ヨリ取り得ル「スクラップ」ノ範圍内ニ於テ仕事ヲシテ行カナケレバナラヌト云フ言葉ガアリマシタガ、是モ將來ハ内地ノ「スクラップ」ヲ使ヒ得ル範圍内ニ於テノミ「スクラップ」ヲ使ッテ、アトハ銑鐵、鑛石法ニ依ッテ鋼ヲ造デ行カナケレバナラヌト云フ、サウ云フ意味ノ言葉デアリマシタカラ、一應私カラ訂正致シマス

○櫻井委員 次ニ石炭ノ問題ヲ御同致シタイノデアリマスガ、鞍山ハ慥カ撫順ノ炭ヲ使ッテ居ルト思ヒマスガ、ドウ云フ割合ニ鞍山デハ使ッテ居リマスガ、一寸參考ノ爲ニ伺ヒタイ

○野田政府委員 鞍山ノハ慥カ本溪湖カラ二割乃至三割位、塊リノ石炭ヲ取ッテ混ゼテ使ッテ居ルト思ヒマス

○櫻井委員 先日、合同會社ガ非常ニ澤山ノ石炭ヲ使用スルガ、其石炭ヲ果シテ廉ク購入出來ルカドウカト云フ問題ニ對シマシテ、當局ノ御説明ハ二瀨、鹿町ノ兩炭坑ヲ以テ、是デ價格ノ調節ガ出來テ行ク、斯ウ云フ御説明デアッタト思ヒマス、其時ニモ依リマセウト思ヒマスガ、時期ニ依ッテハ、私ハ製鐵所ノ有ッテ居ル炭坑ガ、其製品ニ於テ餘程高イ原價ニ付イテ居リハセヌカ、斯様ニ考ヘマスガ、若シソレガ事實トスレバ、一方ノ高イ石炭ニ對シテ、他ヲ廉ク買ッテ行クヤウニ調節スルト云フコトハ、ドウ云フコトニナリマスガ、又經濟的ニハドウ云フ風ニ其點ヲ御考ニナッテ居リマスガ、御尋シタイ

○中井政府委員 自營ノ炭ガ高イ時ニハ少シモ他ヲ廉ク買フト云フコトニハ差支ナイ、——少シモト申シマスト、言葉ガ不十分カト思ヒマスガ、詰リ自營ノ石炭ノ方ガ、ドウシテモ高ク付クト云フ時ニ於テハ、是ハ外カラ買フニハ少シモ心配ナク廉ク買ヘルノデアリマスガ、唯自營ノ石炭ヨリモ市價ノ方ガズツト高イ時ニハ、之ヲ以テ外カラ買フモノヲ抑ヘルコトニナルノデアリマ

○櫻井委員 石炭ノ問題ハ製鐵原料ノ中デ、大切ナ問題ト思ヒマスガ、非常ニ「デリケート」ナ問題ニナリマスケレドモ、多少今ハ自分トシテノ考ハ變ッテ居リマ

スケレドモ、一時斯様ナ疑問ヲ起シタノデアリマス、撫順ノ炭ヲ買フ方ガ廉イ、ソレハ餘程長期ニ互テノ計算ヲ立テレバ、現在ノ製鐵所ノ有シテ居ル所ノ炭坑ヲ閉鎖シテヤレバ、非常ニ良イ算盤ガ取レルノデハナイカ、退職資金、轉職資金ノ如キハ幾ラデモ澤山出セル、將來又之ヲ再ビ開發シテヤル場合ニ對シテ新設備ニ必要ナル基金ノ積立モ充分出來ル、ソレデモ非常ニ差ガアルデヤナイカト、斯ウ云フ疑問ヲ起シマシタ時ハ、滿洲ノ狀態ハ今ト違ッテ居リマシタケレドモ、國家有事ノ際ノ事ヲ考ヘルト、成ベク内地炭ハ留保シナケレバナラス、出來ルダケ廉ク、サウシテ他ニ出ルモノヲ先ニシテ、サウシテ國防上ノ目的ヲ達スルノミナラズ、産業上廉イモノヲ使用シタ方ガ宜イ、ソレヲ既設々備ニ對スル所ノ色々ナ複雑ナ問題ニ對シテ、思切ッテ計畫ガ出來ナイ爲ニ、斯ウ云フ狀態ニアルノデヤナカラウカト云フコトヲ、私ハ考ヘタノデアアル、併シ今ノ狀態デハ是ハ内地モ滿鮮モ、國防上ノ見地カラシテハ、是ハ同様ニ考ヘテ宜シイト考ヘマスカラ、國防上ノ考ハ其問題ニ付テハ區別ハナイケレドモ、經濟上ノ問題ニ餘程ノ差異ガアルナラバ、是ハドウシテモ一ツ考フベキ問題デヤナカラウカト思フ、

唯一萬ノ坑夫ヲドウスルカ、社會問題ヲドウスルカ、併シソレハ遺様一ツナンデス、之ヲ三年、五年ノ算盤ヲ採レバ出來ヌガ、之ヲ三十年、五十年ニ互ッテ算盤ヲ採ッテ國家ガヤラウトスレバ、如何ナル計畫モ出來ル、十分ニ是等ノ人ヲ満足セシムル所ノ轉職資金モ出セル、是ハ要スルニ算盤一ツデアル、私ガ此問題ヲ一寸或ル専門家ニ聞イテ見タ所ガ、撫順ノ炭ハドウモ技術上適シナイ、斯ウ云フ御話ガアッタノデアリマスケレドモ、ドウモ其中ニサウデナイヤウナ話ガ滿洲邊リニ行ッテ聞クト耳ニ入ルノデ、甚ダ吾々素人ハ迷フノデアリマス、今八幡邊リデモ色々ナ問題ガ起ッテ居ル時デアリマスカラ、誤解ヲ招イテハイケマセヌガ、私ハサウ云フ從業員ニ對シテ無理ヲシタリ、不満足ヲ與ヘルト云フノデナク、從業員モ喜ンデ進ムヤウナ方法ニ於テ出來ル場合ヲ假定スレバ、是等ノ問題ハ經濟的ニドウ判斷セラレルカ、斯ウ云フコトヲ一ツ御尋ラシタイ

○中井政府委員 御尤ナ御尋デアリマスガ、是ハ私ハ實ハサウ詳シク存ジマセヌケレドモ、炭ハ大別シテ製鐵所デハ三通り使ッテ居リマス、詰リ熔鑪爐ニ使ヒマス「コークス」用ノ炭ト、ソレカラ鋼ノ平爐ニ使ヒマス瓦斯發生用ノ炭ト、其他「ボイラー」ニ使フ炭ト三通リゴザイマス、其中デ「コークス」ニナリマス炭ハ、炭ノ質カラ申シマシテ、筑豊ノ炭ガ一番適當致シテ居リマス、ソレニ長崎縣ノ鹿町ノ炭、樺太ノ炭、ソレカラ近年ハ極ク少量デスガ支那ノ開鑿ノ炭、斯ウ云フモノヲ約二割混ゼマシタモノガ、石炭ノ質トシテハ、製鐵所ノ作業上適當デアルト思ヒマス、ソレカラ其次ニ「ボイラー」ニ使ヒマス炭ハ、是ハ何處ノ炭デモ宜シイ、工場著ノ最モ安イモノヲ使フト云フコトニナッテ居リマス、其次ノ瓦斯發生用ニ使ヒマス炭ハ、質カラ申シマシテ撫順ノ炭ガ一番適當致シマス、ソレデ以前ハ撫順ノ炭ハ極ク僅カシカ使ッテ居ナカッタガ、工場著ハ却テ筑豊ノ炭ヨリ高クナリマシテモ、經濟的價值カラ申シマス、其方ガ宜シイノデアリマスカラ、漸次其方ニ變ヘマシタ、唯私共ソレヲ考ヘマス場合ニ、ドウ云フ購買方針ヲ執ッテ來タカト申シマス、筑豊ノ澤山ノ炭坑ト云フモノハ、製鐵所ニ供給スル、又鐵道ニ供給スルト云フコトガ、事業ノ主ナル目的ニナッテ居リマス、而シテ又此工場ガ筑豊ニ在ルト云フ關係カラ申シマシテ、ソレヲドン／＼減シテ、都合ガ好イカラ他ノ山ノ炭ヲ採ルト云フコト

ハ、是ハ經濟上多大ノ犧牲ヲ拂フノデナイ限り、成ベクサウ云フ事ヲシタクナイト云フヤウナ譯デ、ソレニ段々近年ハ年ト共ニ需要ガ擴大致シマシテ、石炭ノ需要ガ多クナッテ來マシタノデ、先ヅ瓦斯發生用ノ炭デ、筑豊カラ入ッテ居リマスモノヲ減シマシテ、其他ノモノヲ以テ補ッテ、ソレニ代ルモノヲ撫順カラ取ッテ來タ、斯ウ云フヤウニシテ、只今丁度サウ云フ各種ノ炭ヲ經濟的ニ使フト云フ所ノ均衡ハ執レテ居ルト考ヘテ居リマス、今後モ矢張其割合デ進ンデ行キタイ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス

○櫻井委員 次ニ其目標トセラレル所ノ銑鋼共ニ合同ガ出來タ場合ヲ假定致シマシテ、隨分設備ニ不良ナモノガアル、殆ド役ニ立タヌモノガアラウ——役ニ立タヌモノハ問題ノ無イヨトデアリマスガ、甚ダ非能率ノモノガアル、ソレハ中ニハ日進月歩、色々ノ進歩モ致スモノモアラウガ、併シ其邊ヲ大體抑ヘテ、古イ設備ハ何割切棄テルト云フヤウナ見當ハ、計畫ノ中ニ御出シニナッテ居ルコト、思ヒマスガ、細カイ内容ヲ御聽キスルコトハ時間ヲ取ルカラ省キマスガ、大體茲ニ資產評價ノ表ヲ頂戴致シマシタガ、此中ノドノ場合デモ宜シウゴザイマ

ス、此評價ノ中ノ金額ヲ抑ヘテ、其何割位ハ之ヲ古イ非能率の設備トシテ切棄テルカ、斯ウ云フ點ヲ一ツ御伺シタイ

○中井政府委員 御手許ニ差上ゲマシタ、

備考ノD欄ニ「二百七十萬延需用時ノ作業ニ於テモ尙睡眠状態ニアルベキ土地竝設備ヲ含マズ」トアリマスガ、是ハ其處ニ一寸御尋ノ點ガ觸レルト思ヒマスガ、何割ト云フコトハ能ク當ッテ見マセスト分リマセヌガ、此表ニ掲ゲテアリマスモノハ、二百七十萬越ト申スノハ、昭和四年ノ過去ノ、最モ需要ノ多カッタ時ノ場合デゴザイマスガ、ソレヲ先ヅ差當リノ目標ト致シマシテ、ソレダケノ作業ヲ爲シテモ、尙ホ其時ニ動カナイト云フモノハ一部ヲ除外致シマシテ、ソレデ之ニ入ッテ居ルモノハ、皆今日ノ經濟狀況ニ應ジテ働キ得ル設備デゴザイマス、ソレデ其働キ得ル設備ノ中ニ優劣ガゴザイマス、ソレハ官ト民トノ間ニ優劣ガアリマスルノミナラズ、實ハ御承知ノ通り製鐵所ハ明治三十四年カラ作業致シテ居リマシテ、サウシテ民間ノ製鐵、製鋼ノ設備ハ、皆其後ニ出來マシテ、總テ範ヲ八幡ノ製鐵所ニ採ッテ居ルノデゴザイマス、ソレデ今民間ニアリマス設備ハ、全部八幡ニモアルノデゴザイマス、ソレデ八幡自身ニ於テモ同ジ熔

鑛爐ニシマシテモ、亦同ジ平爐ニシマシテモ、壓延設備ニシマシテモ、色々其間ニ優劣ガアルノデアリマスガ、ソレハ何レノ場合デモ今日ニ於テハ尙ホ動カシ得ルノデアリマスカラ、良イ設備ハ生産費ガ安ク、惡イ設備ハ生産費ガ高イト云フ譯デ、自然各々ノ製鐵所内部ニ於テモ、亦官民ノ比較ニ於テモ、其設備ノ力ニ應ジタ茲ニ稼高ガ出テ來ル、ソレガ詰リ其評價ニ反映スルト云フヤウナ方法ヲ執ルコトガ、至當デアルト云フヤウニ考ヘマシタノデアリマス、其以外ニ近キ將來ニ於テモ、尙ホ動カナイト云フモノハ、是カラ除外致シテ居リマス、ソレハ只今デ二通りアリマスガ、ソレハモウ近キ將來ニ於テモ、到底今日ノ經濟事情ニ於テハ動キ得ナイモノデ、是ハ全部「スクラップ」ニシカ見エマセヌ、ソレカラ唯民間ノ工場ニハ設備ガ整ッテ居ナイモノガゴザイマス、例ヘバ熔鑛爐ガアリ、平爐ガアッテ、サウシテ壓延ノ設備ガアルケレドモ、ソレガ各々チグハグニナッテ居ル、サウ云フヤウナモノハ、ソレデハ他カラ補フモノヲ持ッテ來テ動カシ得ルカト云フト、ソレモ不經濟デアルト云フコトニナリマス、サウナルト自然足リナイ物ヲ補ハナケレバ、其設備ハ經濟的ノ價值ヲ生ジナイト云フモノモ、

是ハ極ク僅カデゴザイマスガ、少シゴザイマス、サウ云フヤウナモノハズット先ニナッテ、又尙ホ需要ノ殖エタ際ニ、設備ヲ補ッテ動カスト多少ノ價值ガアリマスカラ、サウ云フモノヲズット價格ニ於テモ割引シテ、サウシテ「アーミング・パワー」ノ働キハ零ニシテ計算スルコトガ、適當デナイカト云フヤウニ考ヘテ居リマスガ、然ラバソレガ全體ノ何割カト言ヒマス、一寸算盤ヲ採ッテ見ナケレバ分リマセヌガ、只今櫻井サンノ御話ハ、善イモノト、惡イモノガアルガ、其惡イモノヲ此際切棄テベキモノデハナイカト云フ御尋カト拜聽致シマシタガ、ソレハ今日ノヤウナ需要ノ狀況、又今後益、進ンデ行ク趨勢デアリマスル際ニ於テハ、尙ホ動カシテモ差支ナイ、ソコデ古イ設備ト申シテモ、今日マデ相當ノ改良ヲ致シテ居ルノデアリマスカラ、其間ニ餘程ノ優劣ガアリマス、是ハ「アーミング・パワー」ノ上ニ均衡ガ取レル、斯ウ云フ考デアリマス

○櫻井委員 「スクラップ」ニ見ルベキ性質

ノモノニ付テハ、私ハ何モ御尋致シマセヌガ、問題ハマダ使ヒ得ルモノデアアル、併ナガラ新シキ設備ニ比スレバ、非常ニ原價ガ高クナルモノデアアル、斯ウ云フ場合ニ於ケル考方ヲ、ドウシタラ宜イダラウカ、斯ウ致シマスト、合同會社ガ出來マスレバ、最早資金ノ心配ハナイ、其理由ハ大臣カラ承ッテ居リマスガ、資金ノ心配ガナイト致シマスレバ、金利ノ點ヲ考ヘテ、サウシテ非能率のノモノ、今現在設備シ得ル完全ナモノト、原價ニ影響スル所ノ差ハ、ドウナッテ來ルカ、ソレト金利ト見合ハシテ、是ガ資金ノ心配ガナイトスレバ、直チニ是ハヤルベキモノデナイカ、サウ致シマスコトガ、此製鐵事業確立ノ根本問題タル所ノ、最モ安イ鐵鋼ヲ内地ニ供給シテ産業ヲ振興セシメル、而シテ一方ハ國際的競争力ヲ養ッテ行ク、此二ツノ判斷カラシテ、茲ニドウシテモ徹底的合理化ヲヤルト云フコトヲ聲明シテヤル以上、之ニ對シテノ具體的ノ計畫ガナケレバナラス、會社ハ五年ナラ五年ニ出來ル、六年度ノ作業計畫ヲドウスル、而シテ七年度ハドウ、八年度ハドウ、十年度ハドウスル、此間ニ於テ是等ノ設備ノ改善ニ幾ラノ費用ヲ要スル、ドウ云フ順序ヲ經テ、其目標ニ達スルカト云フ所ノ御計畫ガアルベキ筈ダト、私ハ考ヘマスガ、若シ今材料等御手許ニナケレバ明日デモ、明後日デモ此點ノ御答辯ヲ願ッテ結構デアリマスガ、一ツ其點ニ對スル御答辯ヲ、適當ノ機會ニ御願致シタイト思ヒマス

ソレカラ次ニ私ハ昨日大臣ノ御説明ヲ伺ヒマシテ、三百五十萬噸ノ鋼材ヲ必要トスル時代モ左程遠クハアルマイ、即チ百萬噸、是ニ對スル増産ノ設備ヲ爲スコトモ遠クハアルマイ、ソレニ軍事上カラ、歐洲大戰ノ時ハ一人ノ兵ニ幾ラデアッテ、露西亞ハ一人四

噸ヲ要シテ居ル、此點カラ見テモ、人口當リカラ見ルト、我國ノ消費噸數ガ少ナイカラ、

將來ハ大ニ増産ノ必要ガアル、斯ウ云フ御説明ヲ伺ッテ、多量ノ需要ニ對スル生産ハ安

クナルト云フ上カラ考ヘテ、非常ニ結構ナコトデ、私ハ悅ンデ拜聽致シマシタガ、ソ

レト同時ニ又茲ニ賜ッテ居リマス材料ノ中ニ、昭和三十六年ニハ鋼材ガ九百萬噸ヲ要

スルト云フ表ヲ賜ッテ居ルノデアリマス、私ハ之ヲズツ年度別ニシテ、五年先ハドウナ

ルカ、十年先ハドウナルカト云フコトヲ考ヘテ見マシタガ、五年先ハ三百六十萬噸

位ト此表ニナッテ居リマス、十年先ハ四百五十萬噸、斯ウナッテ居リマスガ、尙ホ之

ヲ御確メヲシテ置キタイ思ヒマス、今度ノ計畫ノ中ニハ、必ズヤ少クトモ二十年先ノ

昭和三十六年ハ別ト致シマシテ、五年乃至十年位ノ御計畫ハ樹ッテ居ルト思ヒマス

ガ、假ニ五年ト十年トノ二ツノ豫想ニ對シマシテ、此表ノ通りニ心得テ宜シウゴザイ

マスカ、即チ鋼材ハ五年目ニハ幾ラ、十年目ニハ幾ラ、是ハ勘定スレバ出ルノデアリマセウガ、私ハ素人デ一寸出マセヌノデ御尋シマスガ、鉄鐵ハ之ニ相應ジテ幾ラ造ッタラ宜イカ、此點ヲ御示シテ願ヒタイと思ヒマス

○野田政府委員 只今ノ御質問ハ大分技術的ノ計畫ニ關スルヤウニ拜聽致シマシタカ

ラシテ、私カラ御答致シマス、現在是カラ合同シヨウト考ヘテ居リマス工場ノ設備ト

申シマスモノハ、先程製鐵所長官カラ御答致シマシタヤウニ、殆ド全部ト申上ゲテ宜

イ位、製鐵所ノ當時ノ既設ノモノヲ、眞似シテ拵ヘタモノト言ッテモ宜イ位ノ、所謂ボ

ロ會社ト云フ名ガ能ク用ヒラレテ居リマスガ、私共技術的ニ見マスト、現在動イテ居リ

マスル設備ノ規模ハ、製鐵所ニ似タ小サイモノデゴザイマススケレドモ、ボロト云フ意

味ガ資産ノ狀態等デアリマスレバ、何トモ申シマセヌガ、設備ダケヲ考ヘマスト、

必シモボロト云ッテ片付ケテシマフベキモノデナイト、吾々考ヘテ居リマス、殊ニ本

邦ノ如ク需要ガ少クアリマシテ、種類ガ多ク、個々ノ種類ニ對シテ造ルベキモノ、量ガ

非常ニ少イ、所謂單種多産ノ出來ナイヤウナ需要ノ狀態ニアリマス、本邦ノ製鐵事業

ハ、サウ云フ比較的少サイ壓延設備ト云フヤウナモノガ、亞米利加邊ト較ベテ割合ニ役ニ立ッテ居ルヤウニ考ヘラレルノデアリマス、尤モ先程申上ゲマシタヤウナ鋼ノ工

場ハ、是ハ少シ小サ過ギルノデハナイカト思フノデアリマシテ、自然「スクラップ」ガ

來ナクナッテシマヒマスト、自ラ淘汰サレテ休ンデ、半作品ヲ受ケテ居ルト云フヤウニ

ナルノデハナイカト思ヒマスガ、壓延工場ノ諸設備ハ亞米利加ノ例ヘバ「ゲリー」

ノ工場ノ如ク、非常ニ多量ヲ造ルコトダケニ依ッテ、生産費ヲ下ゲヨウト考ヘテ造ラレ

マシタ工場ハ、今日ノ不況デハ一番先ニ打撃ヲ蒙ッテ居ルヤウニ聽イテ居ルノデアリ

マス、現在亞米利加ノ如キハ、昨年ノ統計デハ殆ド壓延ノ工場ハ、二割位シカ仕事ガ

出來ナイヤウナ風ニ聽イテ居ルノデアリマス、何モ需要ガ少イカラ、イデケタ設備ヲ

可愛ガッテ使ハネバナラスト云フ譯デハアリマセヌガ、一般ニ考ヘラレテ居リマスヤ

ウナボロ機械バカリト云フ風ニハ、吾々技術者ハ考ヘテ居ラナイノデアリマス、今度

ノ評價ハ無論先程製鐵所長官カラ申上ゲマシタヤウニ、複成的ニ今造ッタラバ幾ラス

ニナリマスカラ、ソレノ減價銷却ト云フヤウナモノモ、非常ニ虧イモノデ濟ムト思フノデアリマス、現在ノ需要ニ對シテ動カナイ工場ハ、無論睡眠設備デゴザイマスルケレドモ、サウデナイ限り相當ノ需要ニ應ジテ、單種多産、其小サイ設備ニ應ジテ單種多産ヲ致シマスレバ、割合ニ安イ生産費デ製品ガ出來ルト云フヤウナコトニナルト考ヘテ居ルノデアリマス、將來ドウ云フ風ニ日本ノ需要ガ殖エマシテ、ソレニ對シテドウ云フ風ニ考ヘテ居ルカト云フコトニ對シマシテ、技術的ニ申上ゲマスト、丁度鐵鋼ニ關スル統計ト申シマスモノヲ差上ゲデアリマス書類ノ中ニ、本邦鋼材需要高曲線圖ト云フノゴザイマス、ソレハ明治二十九年カラノ統計ニ基キマシテ、數學的ニ將來ヲ豫想シタモノデゴザイマス、ソレニ依リマスト、一方今日ノ本邦ノ鋼材ノ需要ヲ、人口一人當リニ充テマシタモノト、米國、獨國、佛國、英國邊ノ鋼材ノ需要ノ一人當リト比ベテ見マシテモ、マダ日本ハ今日ノ需要デハ足りナイト云フコトハ、明ニ分ッテ居ルノデアリマス、米國ニ對シテハ日本ノ人口一人當リノ鋼材需要量ノ割合ハ、殆ド米國ノ七分ノ一位ニシカナッテ居リマセヌ、獨逸ニ對シテハ約三分ノ一、佛蘭西

ニ對シテモ三分ノ一、英吉利ニ對シテハ二、五分ノ一ト云フ位ノ程度ノモノデ、マダ日本ガ今日ノ二倍ニナルト云フコトモ、餘リ遠キ將來デハナイヤウニ考ヘラレルノデアリマス、ソレカラ割出シテ、昨日大臣カラ御話ガアリマシタガ、先ヅ三百五十萬兩ヲ豫想シテ見マシテ、更ニ昭和四年ノ二百七十萬兩ノ倍ノ五百四十萬兩、之ヲ勘定ヨク致シマシテ五百五十萬兩ノ場合ヲ想像致シマス、三百五十萬兩ニナルノハ、昭和十二年頃ト考ヘルノデアリマス、丁度其倍ニナリマスル五百五十萬兩ガ、昭和十二年頃ト云フ位ニ考ヘマシテ、全體ヲ通ジテドウスレバ宜イカト云フコトヲ考ヘテ見タノデゴザイマス、先ヅ本邦ノ筑豊炭田ヲ本トシタル石炭ノ存在、北海道ノ石炭、進ンデ滿洲ノ石炭、斯ウ云フ風ニ、三ツノ日本ガ使ヒマス石炭ノ資源ヲ考ヘマシテ、ソレニ應ジテドウ云フ風ニ將來ノ鉄鋼一貫ノ工場ヲ持ッテ行カウカト云フ風ニ考ヘタノデゴザイマス、講演見タイニナッテ相濟ミマセヌガ、極ク結論ダケヲ申上ゲマス、サウシマスルト今迄ノ最高ト申シマス、昭和四年ノ二百七十萬兩デゴザイマスガ、其時デサヘ既ニ鋼塊ガ足りナイ、其時ニ鋼塊トシテ約五十萬兩ノ鋼塊ノ工場ヲ——鉄鋼一貫ノ

工場ヲ置カナケレバナラヌ、更ニ三百五十萬兩デアリマス、其上ニ又百萬兩、丁度只今カラ申シマス、改良迄シマスレバ二百萬兩位ノ工場ハ建テ、行カナケレバナラヌ、一方「スクラップ」ガドン／＼入ッテ來ルト云フコトヲ豫想シマセヌト、鉄鋼一貫ニ直サナケレバナリマセヌカラ、更ニ五百五十萬兩ニナリマス場合ニハ、其上ニ更ニ百二十萬兩ノ設備ヲシテ行カナケレバナラヌ、合計致シマシテ矢張三百萬兩位ノ工場ハ造ッテ行カナケレバナラヌト云フ風ニナルノデゴザイマスガ、假ニソレニ致シマシテ其地方別ヲ考ヘマス、矢張筑豊炭田——少シ數字ニ間違ガアリマシタガ……

○櫻井委員 其内容ハ後デモ宜シウゴザイマス

○野田政府委員 大體ニ於テ既設ノ製鐵所ノ總テノ複式價值ト云フモノヲ調べテ見マシタガ、今日ノ現在ノ内地及朝鮮ニアリマス總テノ製鐵所ノ設備ヲ今造ルトシテ、其當時カラノ年限ガ經ッテ居リマスカラ、ソレヲ年ニ約五十分ノ一宛減ジテ行ク計算デヤッテ見マス、一寸二億三千四百萬圓位ニナリマス、ソレニ對シテ二百七十萬兩ノ需要ノ全部ニ應ズルト云フ設備ノ増設ハ、約五千三百三十萬圓位、是ハ地代無シデアリマ

ス、地代ハ造ル場所ニ依ッテ色々違ヒマスカラ申シマセヌ、今日ノ二百七十萬兩ノ需要ノ上カラ言ッテモ、五千三百三十萬圓位ノ設備費ガ要リマス、ソレカラ昨日大臣カラ言ハレマシタ三百五十萬兩ニナリマス、其上ニ更ニ七千七百五十萬圓位ノモノガ要ルノデアリマス、今日ノ倍ノ五百五十萬兩ニナルト、更ニ其上ニ二億四百萬圓位ノモノ、合計致シマシテ今日ノ倍ノ設備ヲシテ需要ニ應ジヨウトシマスノニハ、三億三千四百五十萬圓ノモノガ要ルト云フコトニ計算ダケハ致シテ居リマス

○櫻井委員 實ハ需要高ヲ豫想セラル、以上、昨日ノ御説明ニハ遠キ將來デモアルマイト云フヤウナ御言葉ヲ御使ヒニナッタノデ、少々此内容ヲ確メナケレバナラヌト思フテ居ルノデアリマス、又今日ハ何カ數學的ニ言フト、斯ウ云フ表ガ出テ來ルト云ッタヤウナコトヲ伺ッテ、一體計畫ノ内容ハドウナッテ居ルノカト云フ疑問ヲ起シテ來ルノデアリマス、小サナ會社ヲ一ツ設立シマシテモ、チャント目論見書ヲ作ッテ、五年ヤ七年ノ事業年度ヲ書イテ、何年目ニハドウ云フ利益ガ出テドウ云フ配當ヲスル、ダカラ株ヲ持チナサイト説明ヲスル、是ハ目論見通りニ行ク場合ハ甚ダ少イガ、今國家ガ永

遠ノ國策ヲ確立スル上ニ於テ、是ダケノ大合同ヲ以テ單一組織ニ一ツヤラウト云フノニハ、私ハ二十年、三十年ノ先ヲ申上ゲルコトハ無理ト思フノデアリマスガ、少クトモ五年乃至十年、五年目ニハドウ、十年目ニハドウト云フ、所謂事業計畫ト云フモノガ確然ト具體的ニ立ッテ、サウシテ其事業計畫ニ基イテ御信念ガ起ッテ來ル譯デアラウト思フ、是ハ或ハ事業計畫ノ細カイ所ノ内容マデ發表スルコトハ此場合ドウカト云フ御考ガアリマスレバ、強テ細カニ内容マデヲ私ハ承ラウトハ申上ゲマセヌケレドモ、此御計畫ノ内容ハ確ニアルト私ハ信ジテ居リマスカラ、差支ノナイダケノ極メテ大體ノコトダケデ宜シイノデアリマスカラ、事業計畫ノ内容ハ何年ヲ標準ニシテ居ル、ソレハ大體ドウナル、古イ設備ハドウ位切捨テルガ、併シ新シイ設備ヲドウ云フ順序ニ依ッテ加ヘテ行ク、其採算ガ斯ウナルカラ、原價ノ低減ニ對シテ斯ウナルト云フ位ダケハ、大體私等ガ理會シ得ルダケノ御説明ヲ明後日デモ願ヒタイ、今日ナラバ尙ホ便宜デアリマスガ、併シ明日デモ差支アリマセヌ、是ダケノ御取計ヲ一ツ御願致シタイト思ヒマス

次ニ私ハ問題ヲ轉ジマシテ、合同セラレ

タ後ニ於ケル生産ノ分野ノ點ヲ一寸伺フテ
置キタイ、是ハ簡單ニ御答辯ヲ願ヘバ宜イ、
現在合同スルモノ、中ニ銑鐵ダケノモノガ
アリマスガ、之ニハ銑鋼一貫作業ヲヤラセ
ル御考デアルカ、又種類ニ依ッテハドチラ
カノ方ニ力ヲ入レテ、或ハ薄板物デアルナ
ラバ、何處ノ工場デヤッタ宜イト云フ、
分野ニ付テノ極ク荒増ノコトヲ御説明願ヒ
タイト思ヒマス

○中井政府委員 私一寸御尋ノ趣意ガ分リ
兼ねマシタガ、分野ト申シマシテモ、此十一
社合同致シマシタ場合ニ於ケル分野ハ、矢
張壓延設備ガ、大型、中型、小型、厚板、薄
板ト云フコトニナルト思ヒマスカラ、其形
ニ應ジタ寸法ノ内容ニ依ッテ、其分野ハ細カ
ク出來テ行ク譯デアリマスガ、其前ノモッ
ト大キナ分野ト云フ御尋デアッタウデア
リマスガ、ソレニナリマス、差當ッテノ
所ハ銑鐵ヲ造ッテ居ル所ハ無論銑鐵ヲ造ッテ
參リマス、銑鐵ト同時ニ鋼ヲ造ッテ居リマ
スモノモ其儘ニ致シマス、尙ホ平爐以下ノ
鋼ヲ造ッテ居ルモノハ其儘ニ致シマス、唯
ソレガ十一社全部合同致シマシタ場合ニ
ハ、何處ノ銑鐵ヲドウノ工場ニ持ッテ行
クコトガ最モ經濟的デアルカト云フコトニ
依ッテ配サレルコトニナリマス、ソレデハ將

來何ヲ之ニ補フテ行ッテ、銑鋼一貫ニスルカ
ト云フコトハ、是ハ合同後ノ將來ノ改良擴
張ノ計畫ニナルノデゴザイマシテ、材料ハ
アリマスガ、何レ明後日デモ申上ゲタイト
思ヒマス

○櫻井委員 明後日頂戴シテ結構ナノデア
リマス、質問ノ趣旨ノ御分リ惡イ點ハ、徹
底的合理化ノ點カラ考ヘマシテ、ドウシテ
モ市場ト、現在アル既設ノ設備、運送ノ關
係、是ダケヲ材料トシテ置イテ、其上ノ擴
張ハ、將來ドウ云フ種類ノモノヲ何處ニ持ッ
テ行クカト云フヤウナコトヲ考ヘラレナケ
レバナラスノデアリマスガ、徹底的合理化
ヲ期スルニハ、此計畫モ矢張組織的ニ完全
ノモノガ立タナケレバナラスト考ヘマシ
テ、御尋シタノデアリマシタガ、是ハ詳細
ニ互ルコトハ時間ヲ要シマスカラ、極ク大
要ダケヲ申上ゲタノデアリマス、明後日デ
モ大要伺ヘレバソレデ結構デアリマス
○野田政府委員 只今櫻井サンノ御話ニ依
リマス、五年後幾ラ、十年後幾ラト云フ
年デ御聞キニナリマシタガ、私ハソレヲ反
對ニ何百萬匁ニナル時ニ幾ラト云フ風ニ計
算シタノデアリマスガ、技術的ニ申上ゲマ
スト、其方ガ工合ガ宜イノデアリマス、ソ
レデ宜シケレバ只今カラデモ御説明申上ゲ

マスガ、或ハ明後日デモ……

○櫻井委員 其説明ハ大分長クナルト思ヒ
マスノデ、他ノ方ニモ迷惑ヲ及ボスカト思
ヒマスカラ、成ベクナラバ表ニ依ッテ後日頂
戴スレバ宜シイト思ヒマス、唯何百萬匁ニ
ナッタ場合ニドウト云フコトハ、責任ヲ有
ッ當局者デナクテモ、大學ノ教授ニ頼ンデ
出來ル、此案ヲ提出セラレテ責任ヲ有ッテ居
ラレル當局カラ、何年目ノ計畫ヲ樹テルノ
ダト云フコトヲ御聽キシタイノガ趣旨デア
リマスカラ、成ベクサウ云フ風ニナッテ居
リマスレバ、ソレハ一ツ此趣旨ニ基イテ御
示シヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○野田政府委員 何年目ト申シマス、色
色端數ガ出テ參リマシテ、計算上實ハ手數
ヲ取ルノデ、之ヲ計算シマスト連モ明後日
ヤソコラデハ差上ゲラレナイカト思フノデ
アリマスカラ、成ベクナラバ只今ノ倍ニ
ナッタ幾ラ、其中間ガ幾ラト云フ風ニ吾々
ハ計算シテ居リマスカラ、左様願ヒタイト
思ヒマス、必シモ大學ノ先生のデナク計算
スル積リデアリマス

○櫻井委員 材料トシテハサウ御示シヲ
願デモ結構デアリマスガ、大臣カラ大體此
部分ガ何年目ニ實行スルト云フ計畫ニナッ
テ居ルト云フ説明ヲ、其表ヲ提出サレタ時

ニ併セテ願ヘレバ宜シイノデアリマス

○若宮委員長 此際御注意ヲ煩シテ置キタ
イノデスガ、質問セラレタルコト、成ベク
喰違ヒノナイヤウニ、雙方深く御留意ヲ煩
シタイノデアリマス、質問通告者モ大分多
イ際デアリマスカラ、委員長ト致シマシテ
ハ、成ベク一人ノ質疑者ガ繼續ヲシテ其實
疑ヲ盡サレ、次ノ委員ノ方ニ移ルヤウニ致
スコトガ整理上最モ便宜ナコト、考ヘテ居
リマス、隨テ答辯ヲ後日ニ留保セラレマス
コトハ、其必要モアリマセウシ、又差支ナ
イト思ヒマスルガ、出來得ルナラバ答辯ハ
成ベク即時ニ進行シテ貰フ方ガ整理上便宜
ト思ヒマス、其御含ミヲ持チマシテ、能ク
質疑者ノ質疑ノ趣意ヲ政府側ニ於テハ了解
セラレテ、出來得ル限り趣旨ニ副フヤウニ、
喰違ヒノナイヤウニ、深く御注意ヲ煩シタ
イト思ヒマス

○中島國務大臣 櫻井委員カラ、昨日私ガ
遠キ將來ヲ出デズシテ、日本ノ鋼材ノ需要
量ガ三百五十萬匁ニ至ルト云フコトヲ申上
ゲマシタガ、只今技監ヨリ御答申上ゲマシ
タコトニ依ッテ大體御分リ戴イタト存ジテ
居リマシタガ、昨日私ガ申上ゲマシタコト
ハ、技術者デナイ私ノ考ハ斯ウデアッタノ
デアリマス、昭和四年ニ日本ノ鋼材ノ需要

量ガ二百七十萬噸デアル、爾來内外財界ノ不振ニ伴ヒマシテ、年次ヲ逐ウテ是ガ低下致シマシテ、近年最モ不況デアリマシタ時、昭和六年ノ百八十萬噸、昨昭和七年ハ二百二十萬噸程度デアッタカトモ想像サレルノデアリマスガ、兎モ角モ二百七十萬噸ノ鋼材ノ需要量ガアリマシタコトハ、既ニ昭和四年ニ實現サレテ居ルノデアリマスカラ、是ハモウ少シ内外財界ノ好轉ニ伴ヒマシテ、此數字ニ達スルコトハ必シモ本年明年度デサヘモ絶無ダト斷言ハ出來マセヌガ、其場合ニ於テモ尙ホ銑鋼一貫作業ニ伴ウテ要シマス鋼塊ノ量ガ——二百七十萬噸ノ需要デアリマシテモ、約百萬噸ヲ要スル、是ハ既往ノ實績ニ付テ申シマシタノデアリマスガ、既ニ其時ニ新設スベキ銑鋼一貫ノ作業ニ依ル鋼塊ノ所要量ハ、百萬噸ト考ヘラレテ居リマスガ、只今技監ノ申上ゲマシタ數字の過程ニ依リマシテ將來ヲ察シマスノニ、此一箇年ノ鋼材需要量ガ三百五十萬噸ニ相成リマスコトハ、略、昭和十二年頃ト之ヲ想察シ得ルノデアリマス、其時ニ於テハ——私ノ昨日チヨット申シマシタ點ハ、頭ガ煩雜致シマシタ爲ニ、合算シテ能ウ申上ゲ得マセヌデシタカラ、少シ文句ノ上ニ不備ガアッタト思ヒマス、若シ三百五十萬噸ト云

フコトガ昭和十二年ニ實現スルモノト致シマスレバ、今日ノ施設ニ對シマシテハ、二百萬噸ノ鋼塊生産能力不足ガ生ズル、若シ夫レ昭和二十年前後ニ是ガ五百萬噸ニ至リマシタ場合ニ於テハ——假ニ五百五十萬噸ト云フコトヲ想像致シテ居リマスガ、其場合ニ於テハ只今申シマシタ三百五十萬噸ノ時ニ、現在ノ施設ニ對シマシテ二百萬噸ノ増設ヲ要スル、其二百萬噸ノ増設ニ更ニ加フルニ約二百五十萬噸ノ新施設ヲ要スルコトニナルノデアリマシテ、之ニ伴フ數字ハ其時ノ事情ニ依リマシテ、固ヨリ大小ガアラウト思ヒマスケレドモ、略、只今野田技監カラ申上ゲマシタ位ナ創業費ガ要ル、斯ウ云フヤウナ概念ヲ以テ昨日申シマシタ次第デゴザイマス、ドウカ御諒承戴キタイト思ヒマス

○永田委員 櫻井君ノ今ノ御話ニチヨット

關聯シテ一言簡單ニ伺ヒタイ、私共此委員會ヲ熱心ニ實ハ伺ッテ居ル譯デスガ、氣ヲ付ケテ御當局ノ御主張ヲ伺ッテ居リマス、先日カラノ御話ニドウモ喰違ヒガ多イト思ヒマス、只今ノ技監ノ御話ニシマシテモ、ドウモ御當局ノ説明ニ私共納得ガ行カナイノデス、根本的ニ違ッタ點ガアルト思フノデアリマス、委員長ノ御注意モ然ルベキコト

デ、此委員會ハ是非政府案ヲ支持シタイト衷心ヨリ吾々モ考ヘテ居ルノデアリマスガ、御話ガ皆製鐵所ニ關スル御答辯デアル、此會社ハ是ハ製鐵所ノ問題デハナイノデアッテ、合同會社ヲ是カラ作ッテ行クト云フコトナンデスカラ、一種ノ茲ニ民間デ謂フ株式會社ノ組織ノ相談ナンデスカラ、吾々ノ聞カントスルノハ、株式會社組織ノ相談ニ與ラウト云フ心持デ、吾々ハ茲ニ出席シテ居ルノデアリマス、過去ノ實績モ能ク分ッテ居ル、製鐵所ソレ自身ノ事ヲ如何ニ詳シク伺ッテモ何モナラナイ、ドウモ御答辯ガ其方ニ局限サレテ居ル、特ニ製鐵所長官ハマア一般的ニ御存ジデモアリマセウガ、決シテ人ノコトヲ申ス譯デハアリマセヌガ、専門ニ長ク御苦心爲スツテ居ル技監ガ、此新組織ニ關スル御答辯ニ御困難ノコトモ御推察申スノデアリマスガ、ドウモ、新シイ會社ヲ作ッテ行クト云フ意味カラ、此委員會ヲヤッテ居ルノデアルカラ、製鐵所ノ問題デナシニ、只今ノ御話デモ、情勢ガ斯ウナル、數字ガ斯ウナルト云フノデハナクテ、ソレハ分リ切ッタコトデスカラ、其基礎ノ下ニ合同ヲヤッテ行ッテ、サウシテ何處ガドウ足ラヌカラ、斯ウ改善スル、或ハ合同ニ參加スベキ會社デ

モ、此會社ニハ斯ウ云フ設備ハナイガ、此處ヘアレバ鋼ヲ造ルニハ便利ニ使ハレルトカ、此處ハドウモ外ノモノハ使ヘヌカラ銑鐵ダケデヤッテ行ク積リデアルトカ、斯ウ云フヤウナ新組織ニ關スル御意見ガモウ少シナケレバナラヌト、一昨日來思フテ居ルノデアリマスガ、ドウカ大臣モ、ソレカラ製鐵所ノ方ノ方モ、製鐵所ノコトバカリデハナシニ、大局カラ新會社ノ設立ヲ考ヘルト云フ立場ニ於テ、吾々ノ質問ヲ御受取下スツテ、サウシテソレヲ導イテ戴クヤウナ御答辯ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、差出ガマシイコトデスガ、ドウモ私共ドウシテモ本道ニ入レナイ、製鐵所ノ御説明バカリヲ聽イテ居ルノデ、新會社ト云フコトガチットモ寫ッテ來ナイノデアリマス、是デハドウモ洵ニ満足シ兼ネル譯デアリマスカラ、其點マア一ツ御心安イ仲デスカラ、ドウカ腹藏ナク、サウ云フ意味ニ於テノ議員ノ質問ダト云フコトヲ御考ヘ下サツテ、御答辯願ヒタイト云フコトヲ切ニ望ムノデアリマス

○櫻井委員 委員長ノ御注意モアリマシタ

ガ、私モ成ベク早く終リタイ爲メ急イデ居リマシタ爲ニ、質問ノ言葉ガ不十分デアッタト云フ原因モ相當アラウカト思ヒマス

ガ、唯今ノ問題ヲモウ一言ダケ申上ゲタイ、ソレハ私共ハ斯ウ云フコトノ信念ヲ以テ此案ニ賛成シタイ、ソレト云フノハ、此案ノ目的ハ現在ヨリ幾ラ安クナル、斯ウ云フ安クナル鐵ヲ我が産業界ニ供給出來ルノダト云フコトノ算盤ガ出テ來ナケレバ困ル、サウ致シマスノニハ、吾々ノ方カラ聽カナケレバナラヌシ、又政府ノ責任カラ考ヘマシテモ、是ダケノ案ヲ出シテ事業計畫ガナイノダト云フコトデアッテハ、是ハ盲判ヲ捺スヤウナモノデアル、吾々ニ白紙委任狀ヲ出セト云フコトニナル、此法案ダケ通シテ置ケバ、後ハ成行デ、或ル程度何トカナルダラウ、斯ウ云フコトデアッテハドウモ少シ無責任ノヤウデ、ソシナコトハマサカアルマイト思フガ、吾々トシテモ算盤ガ出マセヌ、ドウシテモ事業計畫ノ大綱ダケハ御示シテ願ヒタイト思ヒマス、是ダケノ案ヲ出サレルニ當ッテハ、是ダケノ既設能力ノ合同ヲセシメテ、サウシテ其資産ヲ幾何ニ評價スル、ソレカラ生産ヲ幾ラニ推定スル、サウシテ其事業ニ對スル新設備ハ幾ラ掛ケル、サウシテ其點ノ採算ガドウナッテ來ル、何年目ニハドウ云フ成績ガ出來テ、何年目ニハドウナルト云フ風ニ、少クトモ十年位ノ内容ヲ具備シタル所ノ製品種類マデ

ズツト竝ベテ、何ノ種類ハ凡ソドノ位デアルカト云フ、此事業計畫ハ必ズヤ立ッテ居ルト思フ、唯私共ハ餘リニ細カイ點マデ伺フト云フコトハドウ云フモノデアラウカ、多少遠慮スベキ點ガアラウカト考ヘマスガ故ニ、前ニ申シマシタ所デモ多少濁ッタ言葉ヲ使ッタノデアリマスケレドモ、其點ハ御斟酌ヲ願ッテ宜シウゴザイマスガ、事業計畫ノ大綱ダケハドウシテモ御示シテ願ハナケレバ、吾々ハ斯ウ云フ安イ鐵ヲ、此結果トシテ事業界ニ供給スルノダト云フ、根本ニ對スル答案ハ私共ハ出來マセヌ、此意味カラ申上ゲテ居ルノデアリマシテ、野田技監ノ前ノ御話モアリマシタガ、明後日デ結構デアリマスカラ、其時ニ御示シテ願ヘレバ結構デアリマス、私ハソレニ對シテ質問ヲ保留スルト云フノデモアリマセヌ、委員長ノ御心配ニ依ッテ、機會ガアレバサセデ戴キタイト思ッテ居リマス、其次ニ合理化ノ目的ヲ御達シニナリマスニハ、經營組織ノ問題ガアリマスガ、ソレト同時ニ技術上ノ問題ガアラウト存ジマス、ソレハ矢張製品種類ノ單純化、標準化、即チ規格統一デアリマス、之ニ對シテ相當ノ御計畫ハ立ッテ居ラウト思ヒマスガ、現在ノ此種類ハドノ位之ヲ單純化シ得ルカ、ソレニ相應ジテ規格ニ

付テハドウト云フヤウナコト等ニ付テ大略ノ御説明ヲ願ヒマス

○野田政府委員 其數字ハ覺エテ居リマセヌ、今日持ッテ居リマセヌガ、又製鐵所ノコトヲ申上ゲルヤウデアリマスガ、此數年來ニ製鐵所ダケデモ千數百アッタモノヲ、色々ニ切詰メマシテ、二百近クニ直シタ、ソレデ現在商工省ニ規格統一會ト云フモノガアリマシテ、盛ニヤッテ居リマスルガ、或ル場合ニハ規格統一ノ議論ダケハ寧ロ殖エルヤウナ場合モアリマス

〔委員長退席、鈴木委員長代理著席〕

ト申シマスノハ、耗ト吋ト兩方アリマシテ、米尺ニ直ス爲ニ、今迄ノ米ノモノハ其儘ニ殘シ、吋ノモノハ米ニ代ヘテ殘スト云フヤウナコトモアリマスガ、大體ノ考ハ少シデモ減サウ、又同時ニ作ッテ居ル各會社デモ、少シデモ少クシマシテ、自分ノ所決メテ居ル規格以外ノモノハ寧ロ高ク賣ルト云フヤウナ手段モ取ッテ居ルノデゴザイマス

○櫻井委員 ドウモ千數百種ノモノヲ二百種ニ減ラシタト云フコトニ付テハ私共モ敬服シマス、私立會社ノ日本鋼管アタリヘ行ッテ見マスト云フト、昨年、一昨年ニ比シテ二百種類モ單純化シタ、其結果原價ヲ遞

減シテ居ルヤウデアリマス、合同會社ナドモ一番全力ヲ注グベキ點ヂヤナイカト思フ、所ガ商工省ノ規格統一ノ御話ガアリマシタガ、アノ位氣ノ長イモノハ世ノ中ニナイノヂヤナイカト考ヘテ居ルノデアリマスガ、大臣ハ如何ニ御考ニナッテ居リマスカ、十年モ掛ッテ百何種類ノ規格統一ナドハ「フーバー」ナドガ之ヲ聞イタラ何ト申スデアリマセウカ、私ハサウ云フコトデハ此大ニ事業ニ對シテハドウカト考ヘルノデアリマス、是モ明後日同時ニ、若シ具體的ニ何カ目標ガアッテ御示シ願ヘレバソレデ宜シイノデアリマス、後ハモウ謂ハ、雜ノ部類ノコトヲ三四點御尋シテ終リタイト思ヒマスガ、二割ノ製鋼既設能力ヲ合同外ニ置カレルト云フコトハ、何カ他ノ事業トデモ喰付イテ居ル爲ニ、已ムヲ得ズソレヲ切離スコトガ出來ナイカラト云フ御考デアリマスカ、ソレトモ其他ニ何カ理由ガアリマスカ、ソレヲ伺ヒタイノデアリマス、實ハ私ハ色々ナ群小ノ不統一ナル、同種類ノ仕事ノ散在シテ居ルコトガ、我産業界ノ一ツノ缺陷ト考ヘテ居リマス、徹底的合理化ヲ圖ラシメルニハ、ソレヲ如何ニスルカト云フコトガ、是ハ問題デアラウト考ヘルノデアリマシテ、其二割ノ既設能力ヲ合同外ニ置カレ

タ理由ヲ伺ヒタイ

○中井政府委員

御話ノ通りニ他ノ事業ト交錯シタ作業ヲ致シテ居リマスル爲ニ、範圍ニ入り得ナイト思ヒマシタノガ主デゴザイマス、今ノ御話ノ通りデゴザイマス、ソレカラ其他ニ三萬五千瓩以下ノ小サナモノハ、全體ノ分量カラ言ヘバ僅デゴザイマシタ、數ハ多イノデゴザイマス、ソレヲ含メテ普通鋼材ニ付テハ約二割デアリマス

○櫻井委員

複成式ト稼高式ノコトデアリマスガ、是ハ複成式ハ現在作ルモノトシテ評價スルノデスカ、其評價ハ現在ノ爲替相場ヲ基準ニシテ、例ヘバ其設備ヲ輸入スルモノトシテ現在ノ爲替相場ニ依ッテ御評價ニナルノデスカ、ドウデスカ

○野田政府委員

複成式ハ大體昭和七年十月ノ日本デ作ッたらバ幾ラカト云フノヲ標準ニ致シタノデアリマス、只今デハ先ヅハ割位マデハ皆機械ハ日本デ出來ルコトニナッテ居リマス、ソレヲ態、高イ機械ヲ外國カラ買ッテ、今日複成スルト云フ風ニ考ヘズニ、内地デ出來ルモノト云フ考ノ下ニヤッテ居ルノデアリマス

○櫻井委員

ソレハ内地デ出來ルモノト云フ確信ヲ御持チニナッテ居ル譯デアリマスカ、標準ヲ仰セラレテモ出來ナケレバ困ル

ト思ヒマスガ……

○野田政府委員

又製鐵所ノコトヲ申シテ恐縮デゴザイマスガ、只今製鐵所デハ年五萬瓩ノ鉦力ヲ作ル設備ヲ致シテ居リマスガ、甚ダ口幅ツタイ事ヲ申上ゲルヤウデアリマスガ、一應モ外國カラ機械ヲ買ヒマセヌ、年々日本ノ計畫デ、日本ノ機械工場デ組立テ得ル確信ヲ以テヤッテ居リマス、サウ云フコトカラ此複成式モ態、高イ外國ノ爲替ヲ考ヘマシテ計算シナクテモ、内地デ全部出來ルモノト云フ確信ノ下ニ計算シタノデアリマス

○櫻井委員

稼高式ノ利益ノ點カラ逆算スルト云フノハ、ドウ云フ標準デ逆算ヲナサルノデアリマスガ

○中井政府委員

稼高ノ計算ハ是ハ先刻申シマシタ政府ノ腹案ノ本ハ、市價ヲ何時カラ何時マデ見ルカト云フコトハ幾通りモアリマスシ、ソレヲ御承知ノ通り獎勵金ノ關係ダトカ、關稅ノ問題ダトカ色々アリマスカラ、私ノ申上ゲマシタノハ、過去六箇月ノ市場價格ヲ平均致シマシタモノヲ市價ト致シマシテ、ソレデ過去六箇月ハ餘程變動ヲ致シタ時期デゴザイマシテ、例ヘバ丸鋼デ申シマスト六十圓臺カラ七十圓臺、八十圓臺、九十圓臺ニナッテ、平均ガ八十圓バカ

リニナッテ居リマスガ、其他ノモノモ昨年ノ夏頃カラ本年ノ初メニ掛ケテズツト變ッテ居ルノデアリマス、其平均ヲ市價ト見マシタ、ソレカラ生産費ノ方ハ最近ノ物價及勞銀ト云フモノヲ用ヒマシテ、生産費ト致シマシテ計算致シタノデアリマス、ソレカラ

銑鐵ニ付テハ、是ハ其調査ノ本ニナッテ居リマスノハ銑鐵ノ價ヲ三十八圓ト云フ價格ノ下ニ、詰リ他ノ鋼材ノ割合カラ申シマスト銑鐵ノ價ハモット高クテ初メテ「バランス」ガ取レルノデアリマスカラ、印度銑ノ入リマス、其幾分下ニ見ルコトガ最モ適當デアラウト云フコトデ、三十八圓ト見マシタノデアリマス、之ヲ下ガマシタ當時ハ少シ下デアリマシタガ、最近ハソレヨリ以上ニナッテ居リマスガ、何等カノ基準ヲ茲ニ設ケテ、先ヅ腹案ヲ作ラナケレバナラスト云フノデ、サウ云フ計算ヲ致シマシタ、但シ

是ハ評價審査委員會ニ於テ審査サレマス場合ニ於テハ、自ラ或ハ變ッテ來ルカモ分リマセヌ、詰リ市價ハ何時カラ何時マデノヲ採ル、生産費ハ何時カラ何時マデノヲ採ルト云フヤウナコトハ一般ニ適用サレル原則ガ先以テ決メラレテ、其後ハ各數字ニ依ッテ計算サレルト云フコトニ依ッテ進ンデ行ク考デ居リマス、ソレデ是モ餘計ナコトヲ申

スヤウデアリマスガ、例ヘバ鐵道ノ買收ト云フヤウナ場合ニハ、多クハ過去五箇年ノ稼高ト云フモノガ標準ニナッテ居ルヤウデアリマスガ、鐵道ノヤウナ運賃ガ決ッテ居ルモノト違ッテ、斯ウ云フ生産費ガ非常ニ變動スルモノニ付テハ、何處カラ何處ヲ採ルコトガ最モ適當デアラカト云フコトハ中々困難ナ問題ト思ヒマスガ、計算ハ今述ベマシタヤウナ計算ニ據ッテ居ルノデアリマス

○櫻井委員

銑鐵ノ方ノ合同シマス四社デアリマスガ、是ハ相當大キナ設備ノモノヲ有ッテ居ルト思ヒマスガ、副産物ノ設備等ハ製鐵所ニ劣ラヌヤウニ行ッテ居リマスカドウデアリマスガ、マダ行ッテ居ラヌトスルナラバ、合同スレバ其方ニ色々ノ如何ナル副産物ガ取レルヤウナ設備ヲシテ行カレル御計畫デアリマスガ

○中井政府委員

製鐵所程副産物ノ採取ノ設備ガ出來テ居リマセヌ、ソレデ實ハ先達松本サンノ御尋ニ對シテ銑鐵ノ生産費ノ合同ノ結果ガドウデアラカト云フコトヲ申シマシタノデアリマスガ、是ハ鋼材程ハ生産費ノ低下ハ期セマセヌケレドモ、銑鐵ニ於テモ相當先達申上ゲタヤウナ數字ノ額ダケノ切下ガ出來マスガ、ソレハ副産物ノ採取ヲ更ニ集約のナラシムルト云フコトガ其主

ナル要旨デアリマス

○松本委員 甚ダ濟ミマセヌガ、私ノ御尋ニ對スル御答ニ關シテ今御説明ガアツカニ承リタイノデアリマスガ、副産物ノ出來ルコトハ私當然認メマスガ、サウスルト其副産物ノ出來ルノハ一體生産費ノ中カラ控除スルノガ當リ前デヤアリマセヌカ、アノ銑鐵ノ生産費ト云フモノハ金利ハ幾ラ、材料ハ幾ラ、原料ハ幾ラ掛カル、斯ウ云フ説明デアリマスカラ、サウ云フ副産物デ取レル値段ト云フモノヲ其中カラ引去ッデ宜イノデアリマセヌカ

○中井政府委員 左様デゴザイマス、副産物ヲ控除シテ工場ノ生産費ガ出來マスガ、サウスルト只今マダ十分ニ副産物ヲ採ッテ居ナイ所ハ是カラ設備ヲ補足シマシテ、サウシテ骸炭ノ副産物ナリ、或ハ熔鑛爐ノ鋼材ノ副産物ナリ、ソレヲ更ニ今日以上ニ採取ヲシマスレバ、ソレダケ副産物ノ殖エ方が多クナリマスカラ、隨テ生産費ノ低下ガ出來ル、斯ウ云フコトニナリマス

○松本委員 ソコデ其數字ヲ一寸、三十三圓何十錢ト云フモノカラ、其副産物ヲ引ケバ一體銑鐵ノ生産費ガ幾ラニナルト云フ數字ヲ承リタイ

○中井政府委員 ソレハ引キマシタ結果ガ、

三十三圓何十錢ト云フコトデアリマス

○松本委員 引キマシタト云フコトニナレバ、何處デ引イタノカ、吾々ニ御示シニナッタノデハ原料ガ幾ラ、生産費ガ幾ラ、間接費ガ幾ラト云フ經費ノ二方ダケハ計算ニ載ッテ居リマスガ、副産物ヲ引イタ所ノ數字ハ何處ニモ見當リマセヌ

○福田政府委員 差上ゲマシタ此表ノ第二段目ト第三段目ト御比較ニナリマス、茲ニ工場原價ガ二十七圓十九錢、ソレガ合同致シマスレバ二十五圓二十二錢、其中ニ詰リ副産物ノ完全回收ニ依ル「コスト」ノ低下ガ含マレテ居ル譯デアリマス

○松本委員 工場原價ハ何處ニアリマスカラヤウデアリマスカラ一寸申上ゲマス、現在ノ狀態カラ考ヘマシテ、サウシテ相當合理化シタ場合ノ此工場原價ガ、二十七圓十九錢ト私共見テ居リマス、ソレガ合同致シマスレバ二十五圓二十二錢ニ工場原價ガ下ル、サウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、其原因ノ一ツニ副産物ノ完全採取ニ依ル生産費ノ低下ガ入ッテ居ルト御考ヘヲ願ヒタイ

○松本委員 甚ダ途中デ割込ンデ恐縮デアリマスガ、其材料ヲ吾々ニ御示シ願ヒマセヌト、一寸議論ノシヨウガナイ、私共ニ昨

日御説明ニナッタノハ、銑鐵ノ生産費ガ合同シタ後ニ於テハ、三十三圓八十錢ニナルト云フ御計算デアリマスガ、其中ニハ原料費ガ幾ラ、製造費ガ幾ラ、間接費ガ幾ラ、金利ガ幾ラ、銷却ガ幾ラ、運送諸掛リガ幾ラ、斯ウ云フ御計算デアリマスガ、詰リ今ノ副産物ヲ差引クトスレバ、ソレダケ掛カルモノカラ、一廻當リ幾ラ取レルカラ、差引銑鐵ノ値段ト云フモノハ是デ宜イ、斯ウ云フ算盤ヲ出サナケレバナラス、六十二議會ニ御出シニナッタモノニモ、副産物ノ收入ト云フモノハ一錢モ加算シテナカッタ思フ、サウシテ是々ニナルカラ獎勵金ヲ是ダケ遣ッテ、關稅ヲ是ダケ遣ラナケレバナラス云フコトデ出サレタト思フガ、計算ノ緻密ヲ缺イテ居ルト云フカ、或ハ寧ロ皆サンノ立場ヲ有利ニ展開スル爲ニ、態ト御引キニナッタノカト云フ疑スラ實ハ有ッテ居リマス、此原料費ナリ、製造費ナリノ中カラ、吾々共副産物ヲ引イタト、ドウシテモ常識的ニ考ヘラレナイ

○福田政府委員 關稅問題ノ時ニ御説明申上ゲマシタ時ニモ、亦今回御説明申上ゲマシタ生産費ニモ、副産物控除ノ點ハ考慮致シマシテ、ソレダケ原料費ノ低下シタ計算ニナッテ、生産費ガサウ云フ結果ニナッテ居

ルト御承知ヲ願ヒマス

○櫻井委員 一寸大臣ニ伺ヒマスガ、説明ヲ御聽スル迄モナイカモ知レマセヌガ、第五條ノ「政府ハ日本製鐵株式會社ノ株式總數ノ二分ノ一ヲ超ユル數ノ株式ヲ所有スルコトヲ要ス」此意味ニ付テ何カ御説明ガアリマスカ

○中島國務大臣 是ハ此事業ガ國家的ニ重大ナル意義ガアル性質ニ鑑ミマシテ、即チ國家統制ノ下ニ全般ノ經營ヲ行ッテ行キタイト云フ趣旨ノ下カラ、常ニ政府ノ此會社ニ對シマスル權利ノ領域ヲ絕對的ノモノト致シタイ、色々又政府部内ノ意見モゴザイマシテ、之ニ決定致シマシタ譯デアリマス

○櫻井委員 株式ノ過半數ヲ有ッテ居ルカラ、株式會社トシテノ意思ノ決定ハ總テ政府ニ在ルト、斯ウ推定スルノデアリマス、ソレニ役員ハ株主總會ニ於テ選舉スル、ソレカラ又政府ニソレノ許可ヲ得ル、何ダカ斯ウ實質的ニ考ヘレバ、二重ノ手數ノヤウニ考ヘラレマスガ、何カ是ニハ斯ウシテ置ク方カ宜イト御認メニナッテ居ル理由デモ特ニアリマセウカ

○中島國務大臣 私共ニ於テハ先ヅ政府ノ此理事ノ任命ニ關スル監督ノ程度ハ、此邊ガ丁度宜イノデハナイカト思ッテ居リマス、

此例ハ既ニ日本無線電信株式會社等ニゴザ

イマシテ、其實際ノ運用ガ從來ノ實績ニ徴シマシテ、極メテ好イト認メテ居リマスノデ、ソレ等ノ實績ニ鑑ミマシテ、此程度ノ監督權ヲ以テ理事ノ任免ヲ取扱ヒマスルコトヲ、先ヅ至當ト認メタ次第デアリマス

○櫻井委員 此法案ガ議會ヲ通過スルト致シマシテ、設立委員ノ任命ハ、凡ソ如何ナル時機ニ於テ御ヤリニナル考デアリマスカ、又其設立委員ハドウ云フ組織、凡ソドウ云フ人々ヲ以テ之ニ充ツルト御考ヘニナッテ居リマス

○中島國務大臣 此會社ノ設立ヲ急ギマスル關係カラ、出來得ル限り早キ機會ニ於テ設立委員ヲ任命致シタイト存ジテ居リマス、其組織ハ大體關係官廳ノ高等官、實業界及金融界ノ人々ヲ以テ致シタイ、斯ウ極ク大體ヲ考ヘテ居リマス

○櫻井委員 次ニ此評價審査委員デアリマスガ、是ハ順調ニ運シタトシマシテ、ドウ云フ時機ニ於テ任命ヲ致スト云フ御豫定ニナッテ居リマスガ、又此組織、人選ト云フコトガ非常ニ大切ナ問題デアリマスガ、一寸本會議カ何處カ御説明ヲ伺ヒマシタト思ヒマスルケレドモ、モウ少シ詳シク其點ノ御説明ヲ願フコトガ出來マセヌカ

○中島國務大臣 此評價審査委員會モ、是

亦此會ノ重要性ニ鑑ミマシテ、出來得ル限り早く其委員ノ人選ヲ致シタイモノト思ッテ居リマス、而シテ此組織デゴザイマシテ、組織ハ矢張關係官廳ノ高等官ノ外ハ、學識經驗ノアル者カラ人選ヲ致シタイト存ジテ居リマシテ、是ニハ當業關係ノ人ハ入レナイ積リデアリマス

○櫻井委員 實ハ先刻モウ少シク御伺シタイト思ヒマシタケレドモ、時間ノ都合ガドウカト考ヘマシテ、略シテ置キマシタノデスガ、何カ今日ハ私限リデ打切ニナルヤウナコトヲ聞イテ居リマシタカラ、最後ニ一ツダケ御伺シタイト思ヒマス、ドウシテモ私共ガ理解出來ナイノハ、滿洲ノ製鐵事業ヲ、將來合同スルノダト云フコトヲ目標ノ中ニハッキリ加ヘテナイコトデアリマス、大キクナレバナル程之ヲ併セテコソ、所謂完全ナ統制ノ目的ヲ達シ得ル、又合理化ノ上カラ見マシテモ、是ハ是非考フベキ問題デアラウ、是ハドウモ滿洲ノ側カラ見デモ經濟的國策ノ上カラハ異存ハナイ筈デハナイカ、是ハ推測デアリマスガ、サウ私ハ思フノデアリマス、ソレヲ御省キニナツタト云フコトハ、曩ニ御説明ニナリマシタ理由ダケデハ、私共ハ首肯出來ナイノデアリマス、

一寸何カ茲ニ材料ニモ書イデアリマスガ、滿洲ハ國ガ違フカラト云フ、唯其説明デヤ私共ハ首肯出來ナイ、ソレカラ何カ一寸現レテ居ッタヤウデアリマス、是ハ本溪湖ノ事ヲ仰シヤッタヤウデアリマスガ、尙ホ彼處ニハ支那人ノ株主ガアルト云フ、是モ何トカ其位ナ處置ハ事務的ニ出來ルト思フ、又滿洲人ニ持タシタツテ差支ナイ譯デアリマスマイカ、ソレカラ鞍山ニ至リマシテハ、何等ノ不便ハナイ譯デアアル、斯ウ云フ風ニ考ヘマスガ、ドウシテモ之ハ避ケナケレバナラヌ理由ガアリマスカドウデスカ、私共ハ是ハ一應モ、二應モ、三應モ考ヘテ見タイ問題ノヤウニ思ヒマスガ、モウ一應大臣ニ御伺シタイ

○中島國務大臣 繰返シテ申上ゲマスルガ、今日之ヲ合同ノ中ノ目標ト致シマス段ニハ、尙ホ多少ノ考慮ヲ要スル點ガゴザイマス

〔鈴木委員長代理退席、委員長著席〕
唯先ニモ申上ゲマシタ通り、日滿ノ關係事業ヲ打ッテ一丸ト爲スコトガ出來ル時機ガ參リマスレバ、是ハ洵ニ結構ナコトト思ヒマスルガ、今分ノ所ハ、先ニモ申上ゲマシタル委員會類似ノ制度ヲ整備致シマシテ、日滿兩國ニ於ケル製鐵事業ノ國策ニ關スル

方針ノ外、其生産及販賣ノ統制ニ關スル事項、竝ニ國家トシテ兩國ノ事業ニ向ッテ與フベキ保護獎勵ノ條件ニ關スル事項ハ、其機關ヲ通ジテ審議致シマシテ、兩國ノ間ニ統制致スコトヲ以テ先ヅ順當ト存ジテ居ル次第デゴザイマス

○櫻井委員 其御説明ハ實ハモウ伺ッテ居ルノデアリマスガ、ドウシテモ茲ニ本案提出ノ理由トシテ御示シニナッテ居ル完全ナル統制、徹底的ノ合理化、此二ツカラ考ヘマシテモ、今申上ゲタヤウナ結論ニナルト思ヒマス、ソレカラモウ一ツハ、此日滿經濟關係ヲドウ考ヘテ行クカ、其考ヘ方カラスレバ、茲ニ又是ハ加ヘナケレバナラヌ問題デハナイカト信ジマスル故ニ、此質問ヲ重ネテ致スノデアリマスルガ、一體私共ハ商工大臣ハ——甚ダ失禮ナコトヲ申上ゲルヤウデアリマスルケレドモ、日滿經濟ニ付テ積極的ノ態度ヲ御執リニナッテ居ラヌノデハナイカト云フコトヲ、私ハ日滿經濟ノ爲ニ憂慮致スノデアリマス、ソレハ一寸何カノ委員會デ、私ハ拓務大臣ニモ聽イタト思ヒマスガ、他ノ方ノ質問ニ於テモ、所謂日滿經濟ニ關スル滿洲側カラノ——ト云フ意味カドウカ知リマセヌガ、日滿經濟ニ關スル主務大臣ハ誰カト云ッタヤウナ質問ニ

對シテ、拓務大臣、外務大臣、斯ウ云フ政府ノ答辯ガアツト思ヒマス、齋藤總理大臣モ亦同様ノ答辯ヲ繰返サレテ居ル、之ニ商工大臣ガ省カレテ居ルト云フコトヲ、私ハ非常ニ驚イタノデアリマス、日滿經濟ノ完全ナル統制ヲ圖ツテ、兩國ノ經濟關係ヲシテ矛盾ナカラシメ、大發展ヲ遂ゲル所ノ實質的ノ中心人物ハ誰デアルカト言ヘバ、少クトモ我ガ商工大臣デナケレバナラヌト思フ、少クトモ商工大臣ハ、日滿兩國ノ經濟關係ニ付テ、具體的ノ案ヲ具シテ閣議ヲ「リード」スル、外務大臣ハ外交事務ニ對シテヤルダケデ、サウ大シタ經濟上ニ對スル御意見ガ——ソレハアルカモ知レマセヌケレドモ、先ツ外務省ト云フ上カラノ觀念カラシテハ、左程有ルヤウニモ思ハレヌ、拓務大臣ハ何レカト言ヘバ寧ロ此行政上ノ方ニ重キガアルノデハナカラウカ、ドウシテモ私ハ商工大臣自ラ乗出シテ、所謂日滿經濟ノ方針ヲドウスルカ、指導精神ヲ先ゾドウスル、主ナル産業ニ付テノ具體的ノ計畫ノ組合セゾドウスル、是ハコチヲ抑ヘテ、コチヲ立テテ、是ハコチヘ配分スル、所謂總テノ事情ヲ綜合シテ、茲ニ合理的ナ「プラン」ヲ立テ、サウシテ閣議ヲ「リード」シ、日滿兩國ノ經濟ノ先驅ヲ爲サナケレ

バナラヌ者ハ商工大臣デナケレバナラヌ、是ハ私ハドウシテモ總理大臣ニモウ一度伺ツテ、否詰問シナケレバナラヌト思ヒマスガ、サウ云フ點ニ對シテハ、矢張從來ノ政府ノ説明ノ通り、商工大臣ハ第二次的ニ考ヘラレテ居ル次第デアリマセウカドウデスカ、之ヲ商工大臣ニ御尋スルノハ少シ變デハアリマスルケレドモ、是ハサウ云フ個人的ノ觀念デナシニ、一ツ國家ノ機關トシテ御答辯ヲ願ヒマス

○中島國務大臣 拓務大臣其他カラ、御尋ニ對シテドウ云フ御答ガアツタカ存ジマセヌガ、私ノ行政上ノ立場カラハ、少クトモ斯ウ考ヘテ居リマス、滿洲新國家自體ノ關係ニ付キマシテハ、商工省トシテ直接ノ關係ガアルカナイカハ存ジマセヌガ、兎ニ角滿洲ニ起リマスル産業ニシテ、ソレガ内地ノ既存産業トノ間ニ利害ノ關係ヲ有シマスル事項ニ對シマシテハ、商工行政ノ當局者ハ、無論之ニ向ツテ干與致スベキ權能モアリ、責任モアルト思ヒマス、サレバコソ此度此案ヲ閣議ニ附シマシテ、決定ヲ致シマシタ場合ニモ、私ト致シマシテハ滿洲ニ起ルベキ今後ノ製鐵業ニ對シマシテ、ソレソレ其重點ニ付テハ、内地トノ關係ニ於テ考慮スベキ所以ノモノアリト思ヒマシタガ故

ニ、只今申上ゲマスヤウナ點ニ付テ、將來其間ニ統制ヲ保ツベキ機關ノ設置ニ付テ、同時ニ閣議ノ決定ヲ得マシタ、斯ウ云フ次第デアリマス

○櫻井委員 是レ以上御尋シマシテハ、他ノ御方ノ御迷惑ニナルト思ヒマスカラ止メマス、尙ホ實ハ細カイ問題ガアリマスガ、是ハ後ニ機會ガアレバ、其際御尋スルコトニシテ、他ノ大臣ニ對スル質問ヲ留保シ大體私ノ質問ハ今日此程度デ終リマス

○松本委員 每度恐縮デアリマスガ、政府カラ御配付ニナツタ第四回ノ配付材料、製鐵所外十一社出資評價額ト云フモノガアリマスガ、此十一社ヲ總計ニシテ茲ニ出シテアリマスガ、是ハ總計デナク、各社別ニ御示シヲ願ヒタイト思ヒマス

○中井政府委員 各社別ニハ御示シ出來ナイト考ヘテ居リマス、ト申シマスノハ是ハ各社ノ營業上ノ祕密ニ屬スルヤウナモノヲ詳細ニ出シテ貰ヒマシテ、ソレデ一切外ニハ示サナイト云フ承諾ノ下ニ出シマシテ、唯總計デアリマスルト差支ナイト考ヘマスノデ、總計デ出シマシタカラ左様惡シカラズ御諒承ヲ願ヒマス

○松本委員 ソレデハ此十一社ノ公表サレテ居ル資産額ト云フノヲ別ニ御示シニナッ

テモ、一向差支ナイト思ヒマス、考課狀ニ現ハレテ居ル資産額ト云フモノガ、ドウナツテ居ルカト云フコトヲ各別ニ御示シヲ願ヒタイ

○若宮委員長 本日ハ是デ散會致シマス、次會ハ月曜日ノ午前十時ト御含ミヲ願ヒ置キマス

午後四時一分散會